

2024年3月期 投資家向け説明会

2024年5月13日
ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i) SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii) SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
1米ドル	129.04	138.68	141.16	133.26	138.11	145.44	147.00	147.87
期末レート	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末
1米ドル				133.53				151.41

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plcまたはArm Limited*
Sprint	Sprint Corporation
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

* 2023年8月にArm Limitedの子会社であったArm Holdings LimitedがArm Limitedの発行済普通株式の全てを取得し、同社を完全子会社化する組織再編が行われた。その後、Arm Holdings Limitedは社名をArm Holdings plcに変更し、2023年9月14日に新規株式公開でNasdaq Global Select Marketへ上場。

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

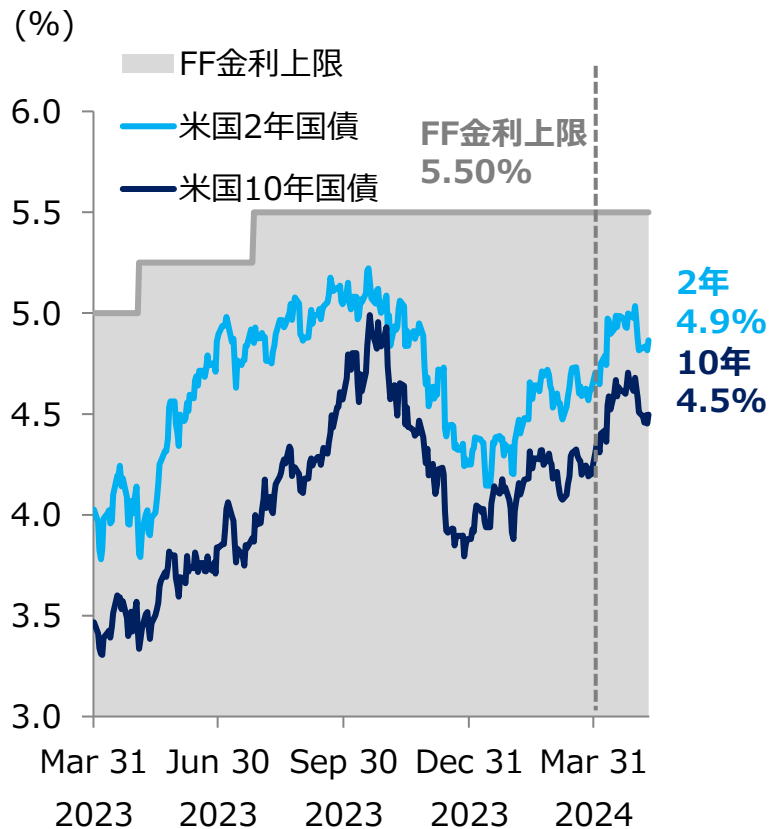
財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（LINEヤフーおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド等です。

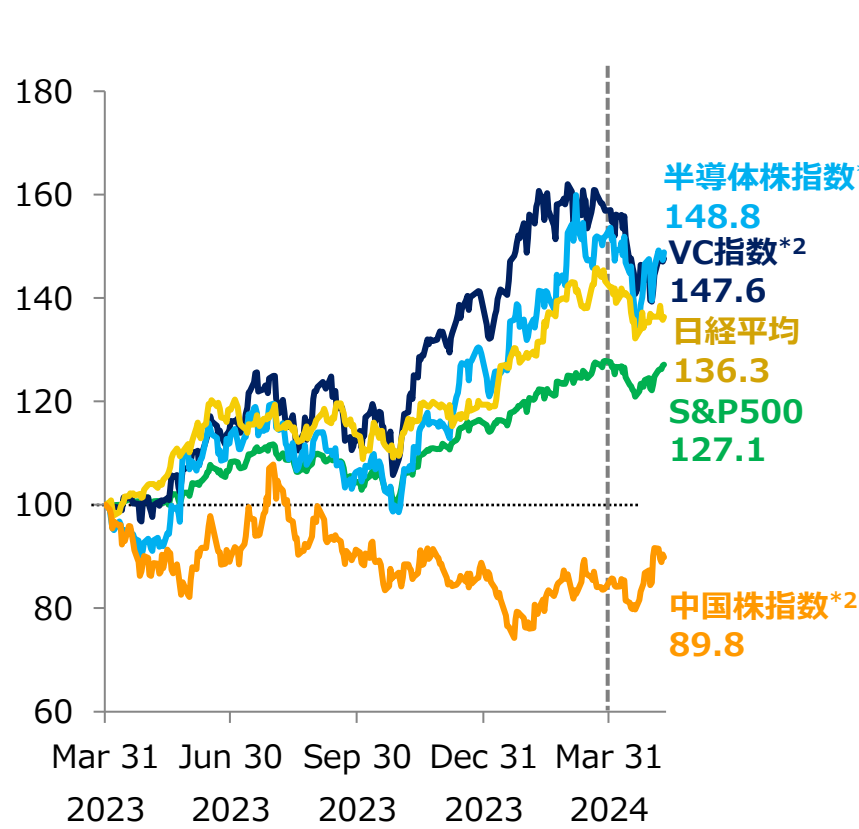
環境認識について

米金利は上昇するも株価指数は中国ハイテク株を除き上昇 為替は円安ドル高が進行

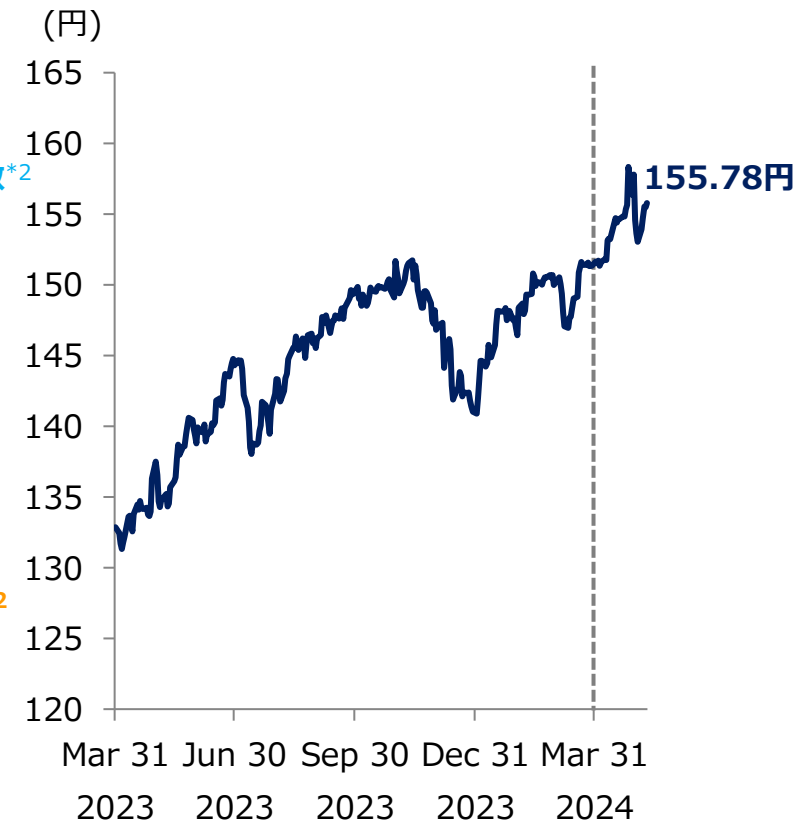
米国金利



株価指数*1



為替 (ドル円)



(注) Bloombergを基に当社作成。2024年5月10日時点

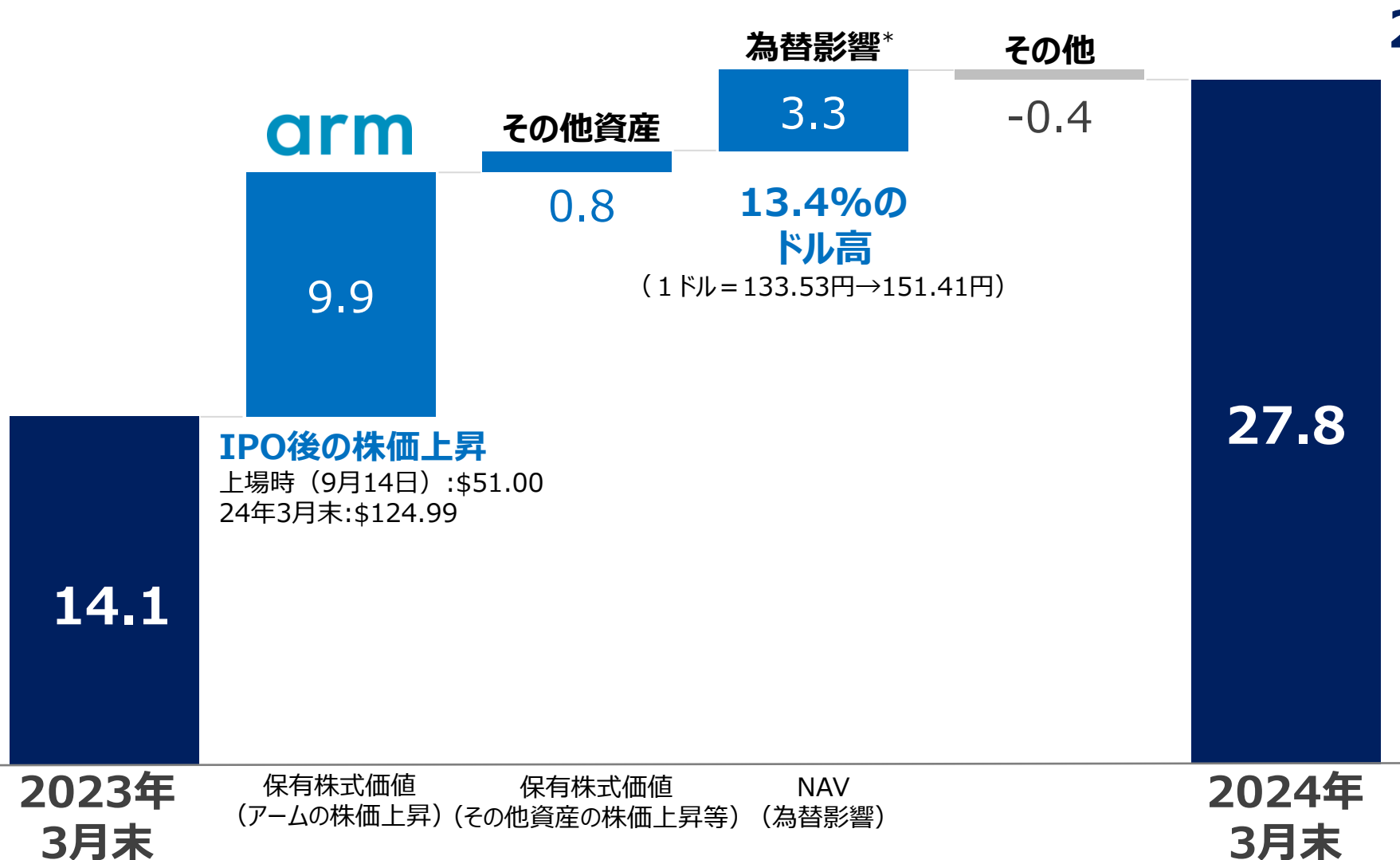
*1 2023年3月末を100として指数化

*2 半導体株指数: フィラデルフィア半導体株指数 (SOX)、VC指数: Thomson Reuters Venture Capital Index、中国株指数: NASDAQ Golden Dragon China Index

市場環境の当社NAVへの影響

アーム株の上昇および円安の進行によりNAVは約2倍に拡大

(兆円)



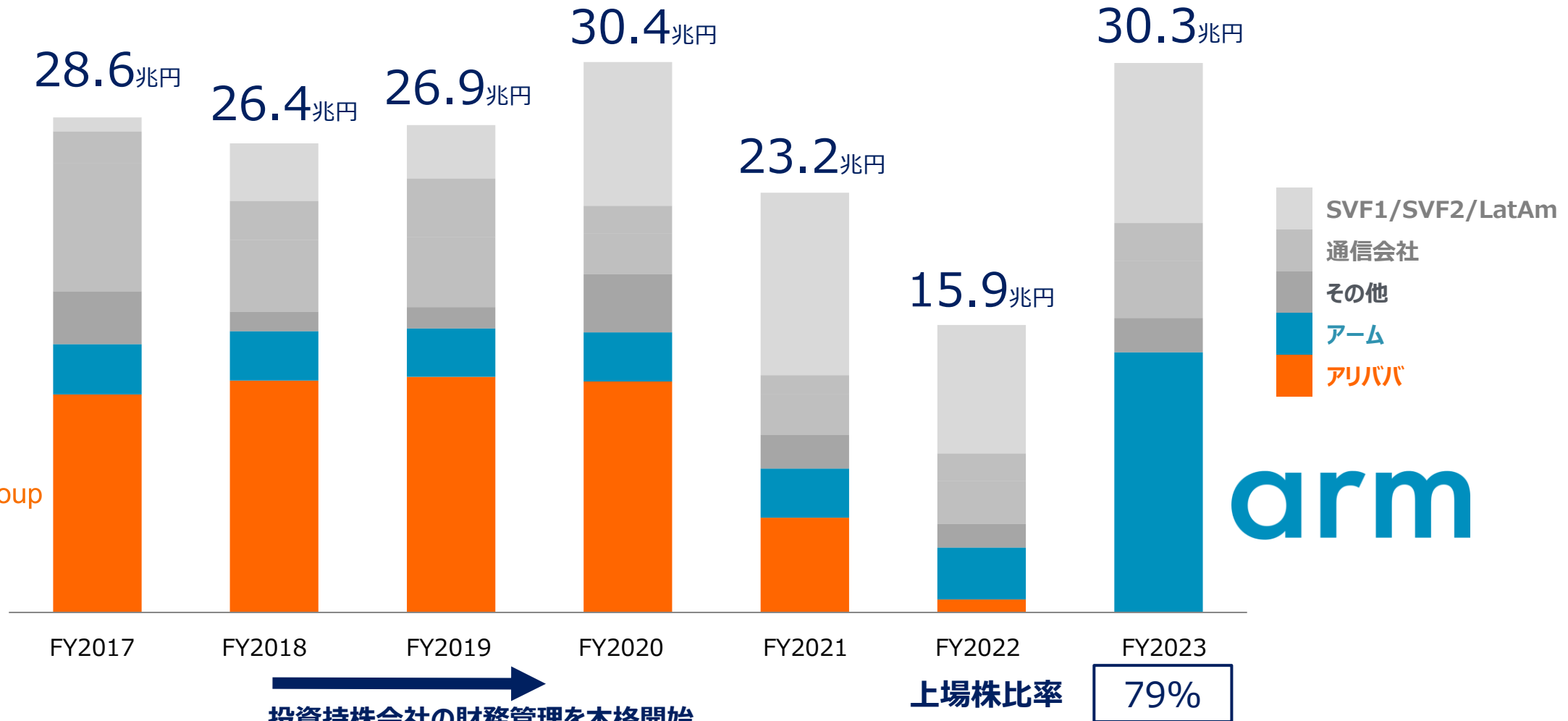
(注)

NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

* FY23Q4時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算

保有株式価値の推移

アリババの資金化とアーム価値の増加により、大規模なポートフォリオの入れ替えが機能

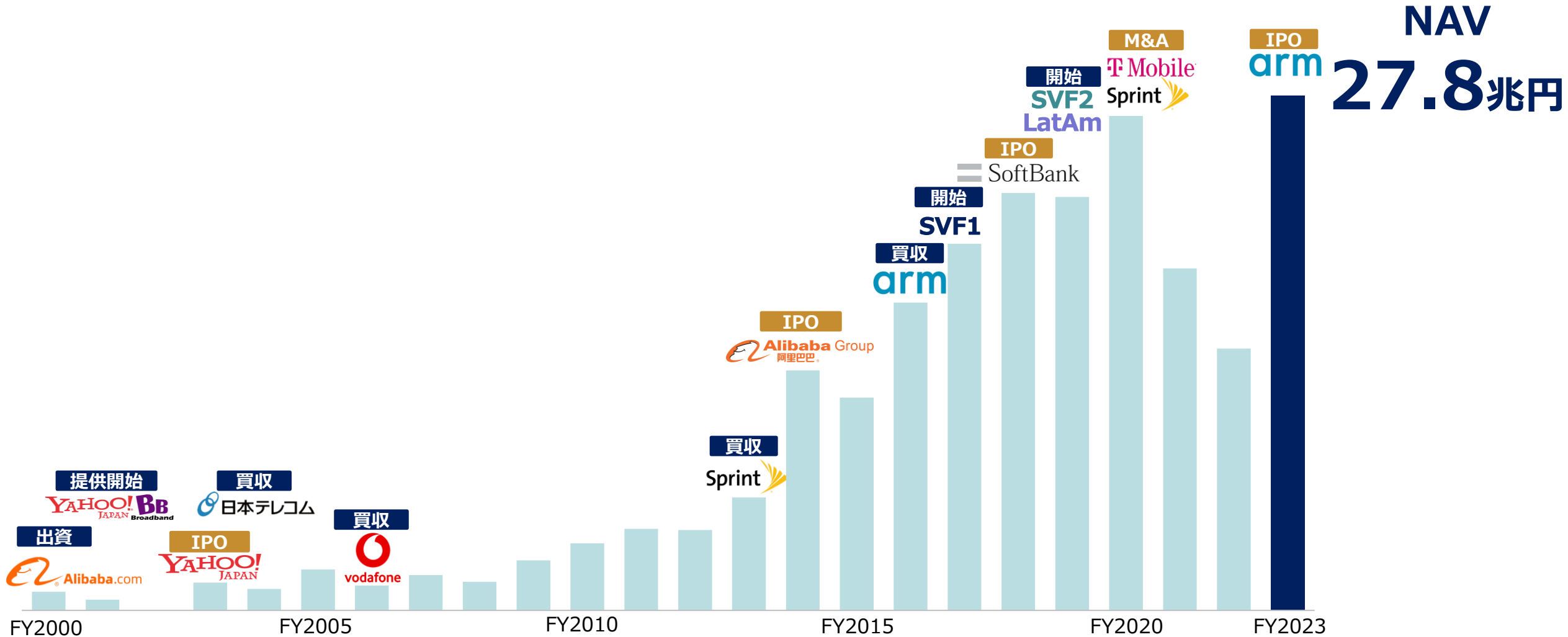


(注) 各年度末時点

- 保有株式価値の詳細は、各年度末の決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照。通信会社はソフトバンク、Tモバイルおよびドイツテレコム
- 上場株比率：アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他の上場株式を含む。
(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

NAVの推移

NAVは大幅に拡大。過去最大水準に



(注) 各年度末時点

- NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債
- NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

投資持株会社の財務管理を本格開始

アーム株式をはじめとする上場株の好調なパフォーマンスによりNAVは倍増

<p>NAV・LTV</p>	<p>NAV 27.8兆円（前年度末比 +13.7兆円） LTV 8.4%（前年度末比 -2.6ポイント） 純有利子負債 2.6兆円（前年度末比 +0.8兆円） 手元流動性 4.7兆円^{*1}（前年度末比 -0.5兆円）</p>
<p>資金調達</p>	<p>大規模な資金化を実行</p> <ul style="list-style-type: none"> - アリババ株式を活用したアセットバック・ファイナンス 6,056億円（累計9.8兆円の資金化を完了） - アーム株式を活用したマージンローンのリファイナンス 1.2兆円（\$8.5B） - アーム株式のIPO時売出し\$5.1B（発行済株式の10%相当） <p>リファイナンスを着実に実行</p> <ul style="list-style-type: none"> - 社債の償還 5,212億円、発行 5,500億円 - ハイブリッド社債の借り換え 2,751億円^{*2} - コミットメントラインの更改 総額約7,495億円（米ドル建\$4.7Bおよび円建356億円）
<p>投資</p>	<p>アームのIPO完了</p> <ul style="list-style-type: none"> - 時価総額\$52B規模の上場を達成 <p>1.1兆円相当のTモバイル株式を取得</p> <ul style="list-style-type: none"> - Tモバイルの条件付対価の条件充足。4,875万株（1.1兆円相当）を無償取得 <p>SVF投資損益は5.2兆円改善。案件を厳選しながら投資再開</p> <ul style="list-style-type: none"> - SVF投資損益 FY23 -1,673億円（FY22 -5兆3,223億円）^{*3} - FY23投資額 \$3.9B（FY22 \$4.0B）

*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。2024年3月末のコミットメントライン未使用枠は7,495億円相当。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）

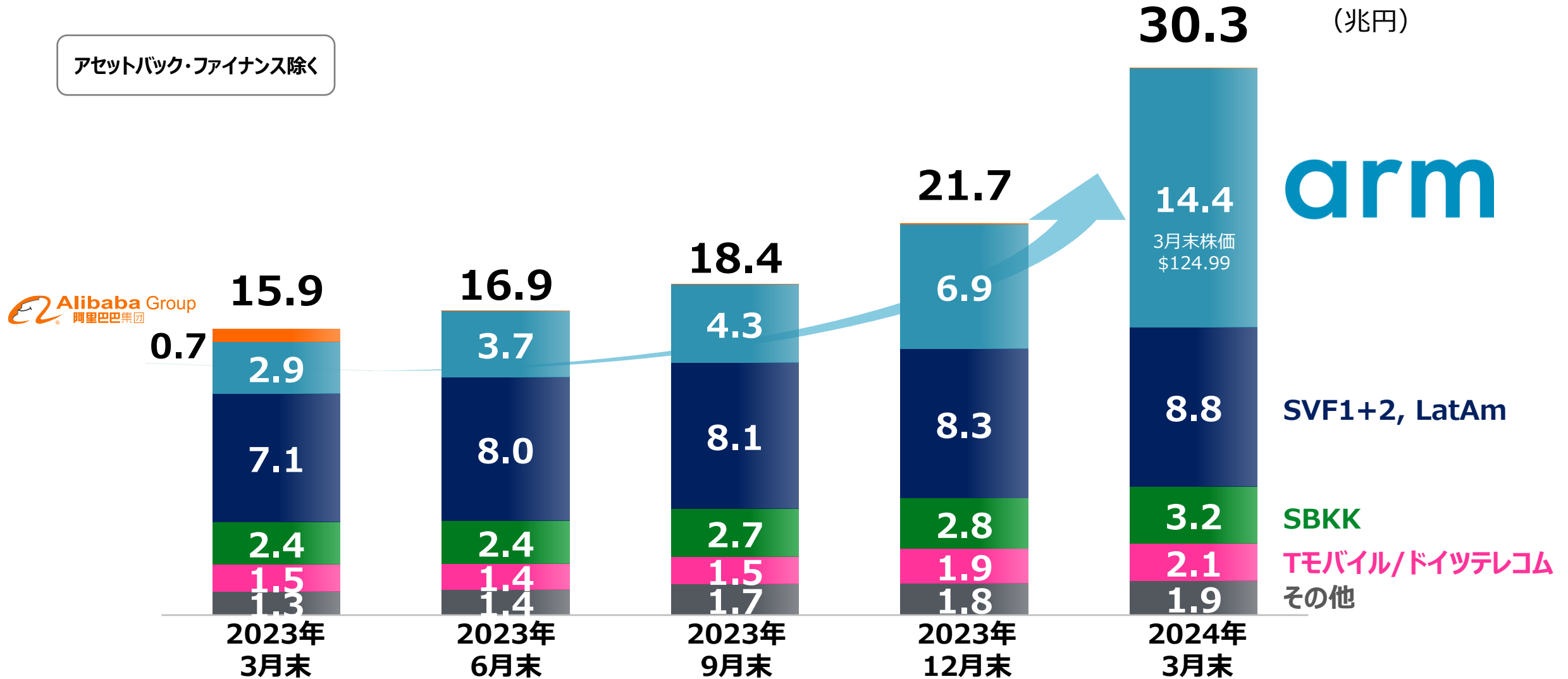
*2 国内ハイブリッド社債の発行（2,220億円）とハイブリッドローンによる借入（531億円）の合計額

*3 SVF事業からの投資損益（連結損益計算書）

保有株式価値推移

アームの価値大幅増加により、保有株式価値は直近1年間で約2倍に

アセットバック・ファイナンス除く

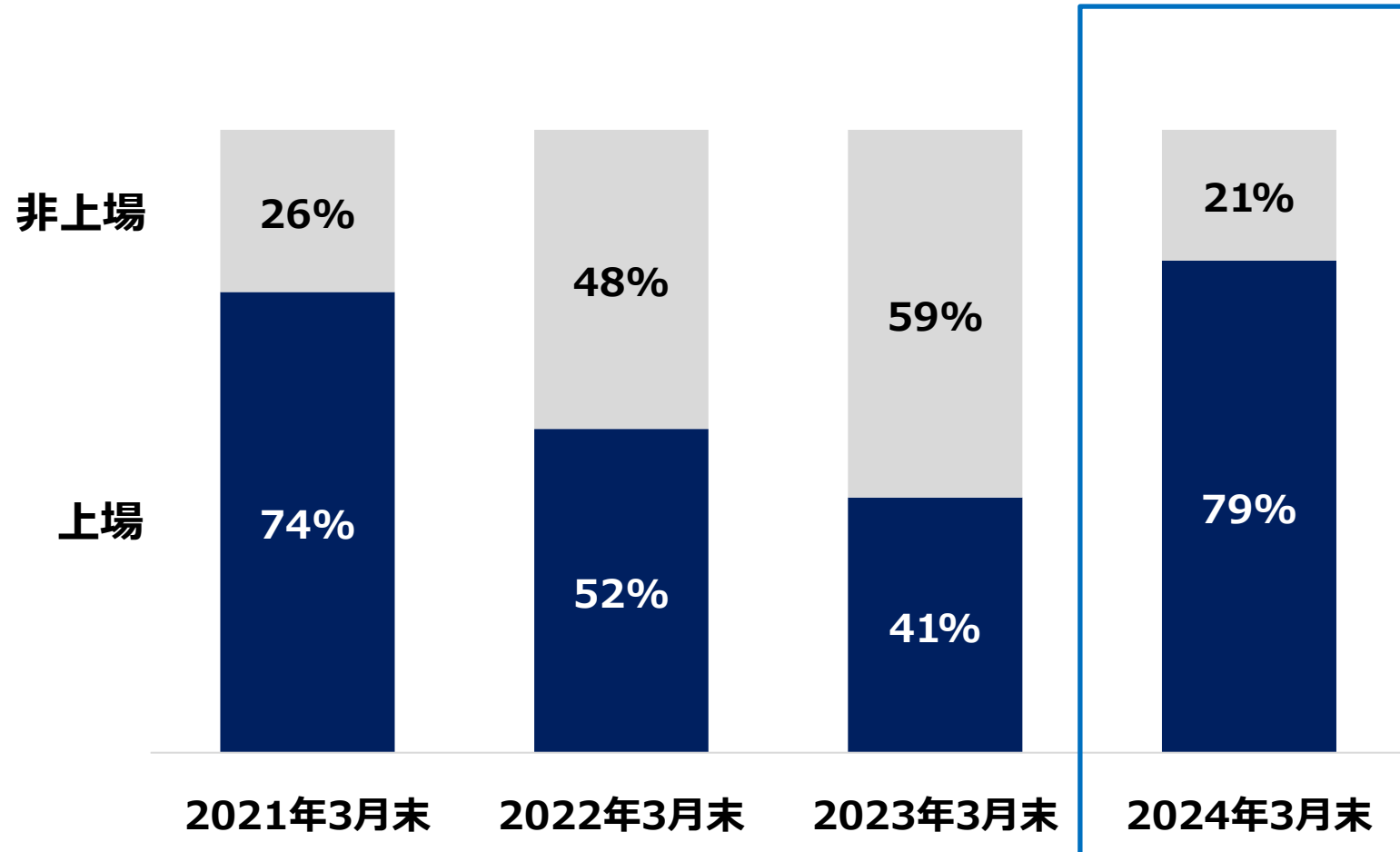


(注) 保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

上場株比率

上場株比率は約8割。ポートフォリオの流動性はきわめて高い状況

アセットバック・ファイナンス除く



• 上場株比率：アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他の上場株式を含む。2024年3月末はアーム含む。
 (ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

資産の集中リスクについて

短期的な変動に柔軟に対応し、長期的なリターンを追求

保有資産の短期変動に対する防御壁

1 潤沢な手元流動性（4.7兆円*）

- 2年分の社債償還に対応する手元流動性を常に維持
- 豊富な手元流動性が債務返済と戦略投資を支える

2 十分に安全なLTV水準（25%未満での運用方針）

- SBG LTV: 8.4%（25%まで大幅なバッファあり）
- 保有株式価値を50%ディスカウントした場合でもLTVは20%未満

3 機動的な資金化

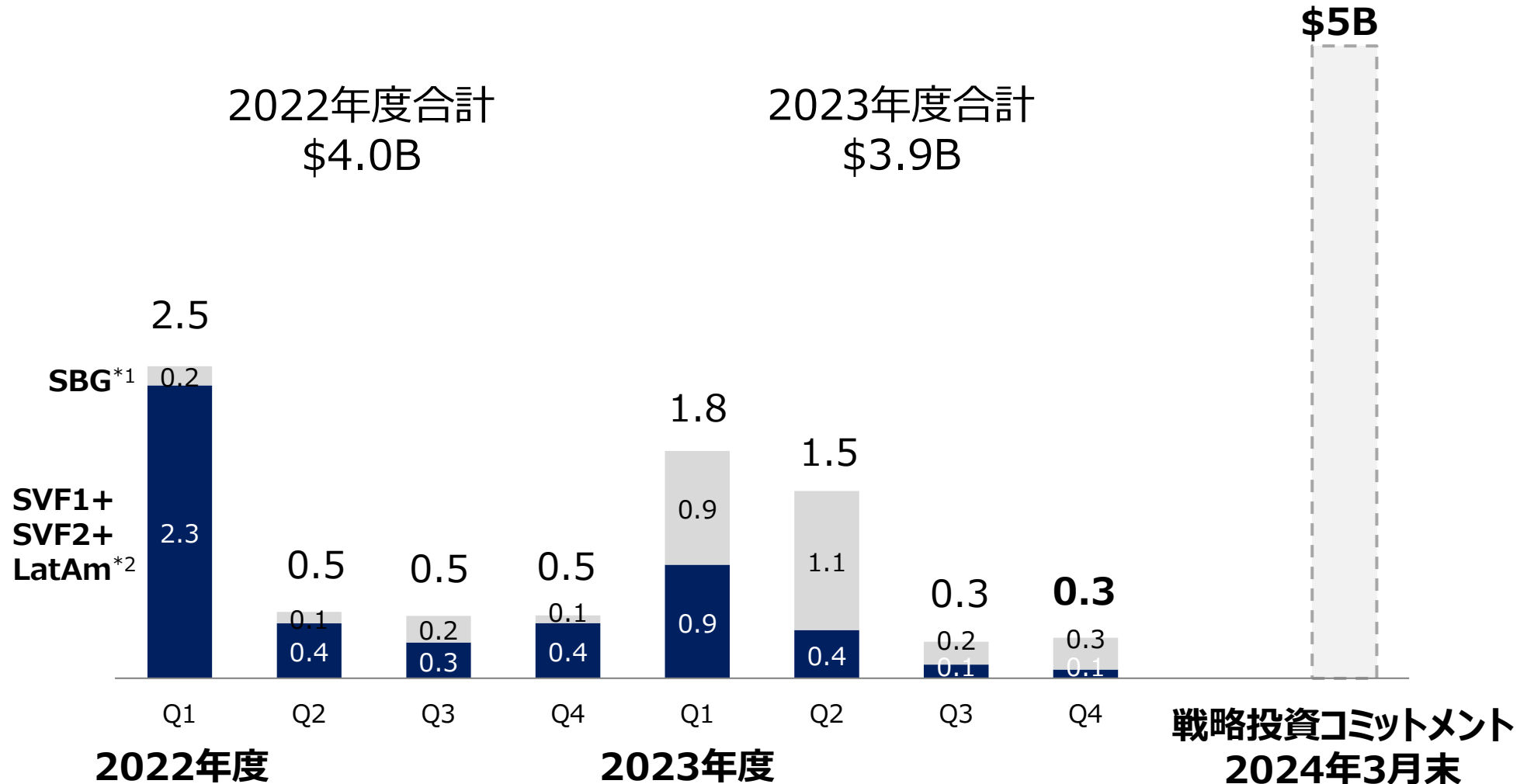
- 上場株比率は79%であり、迅速な資金化は可能
- 2020年には6か月で5.6兆円の資金化を実行

* 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG)

2023年度は\$3.9Bの投資を実行。戦略投資コミットメントは\$5B

(\$B)

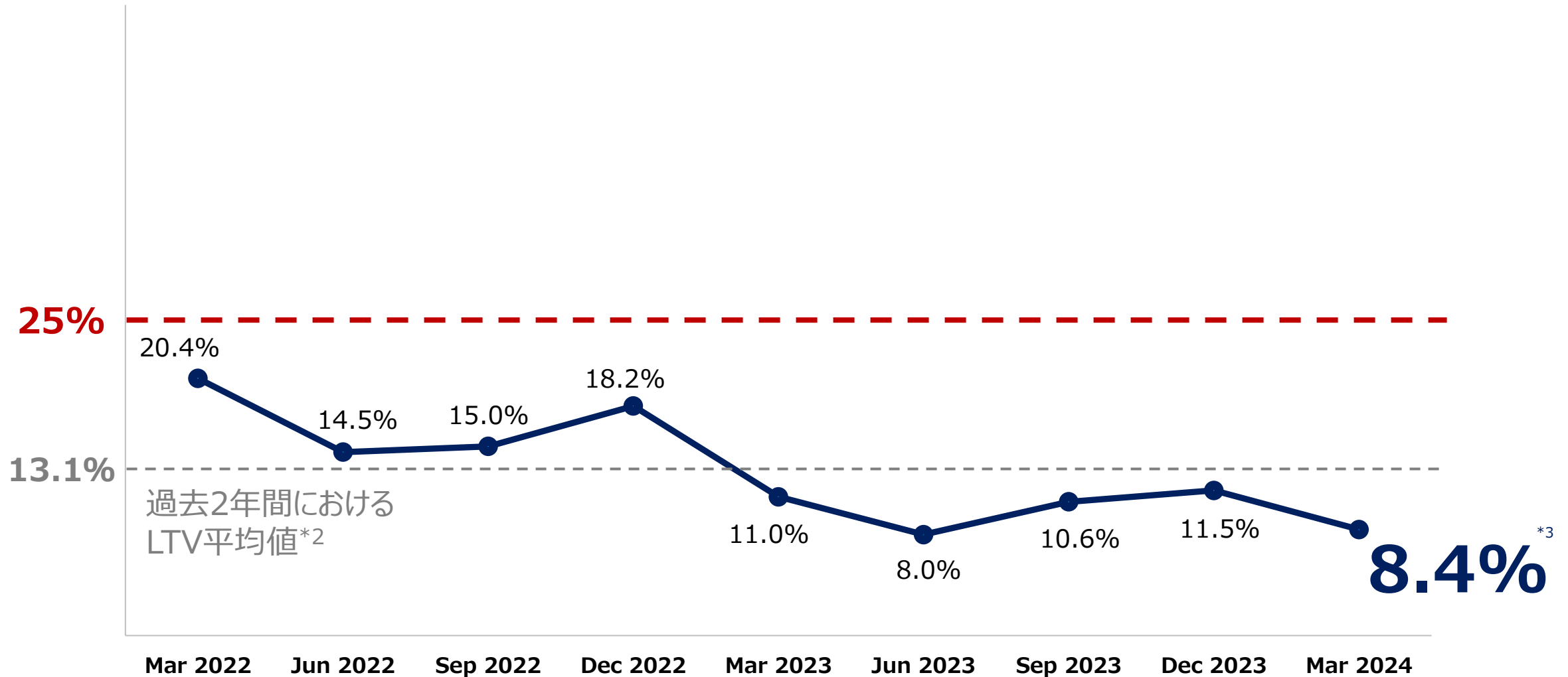


*1 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く）+ Berkshire Grey（2023年7月）およびBalyo（2023年10月）の子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。

*2 新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

LTVの推移^{*1}

LTVは前年度末比2.6ポイント低下。過去最低水準



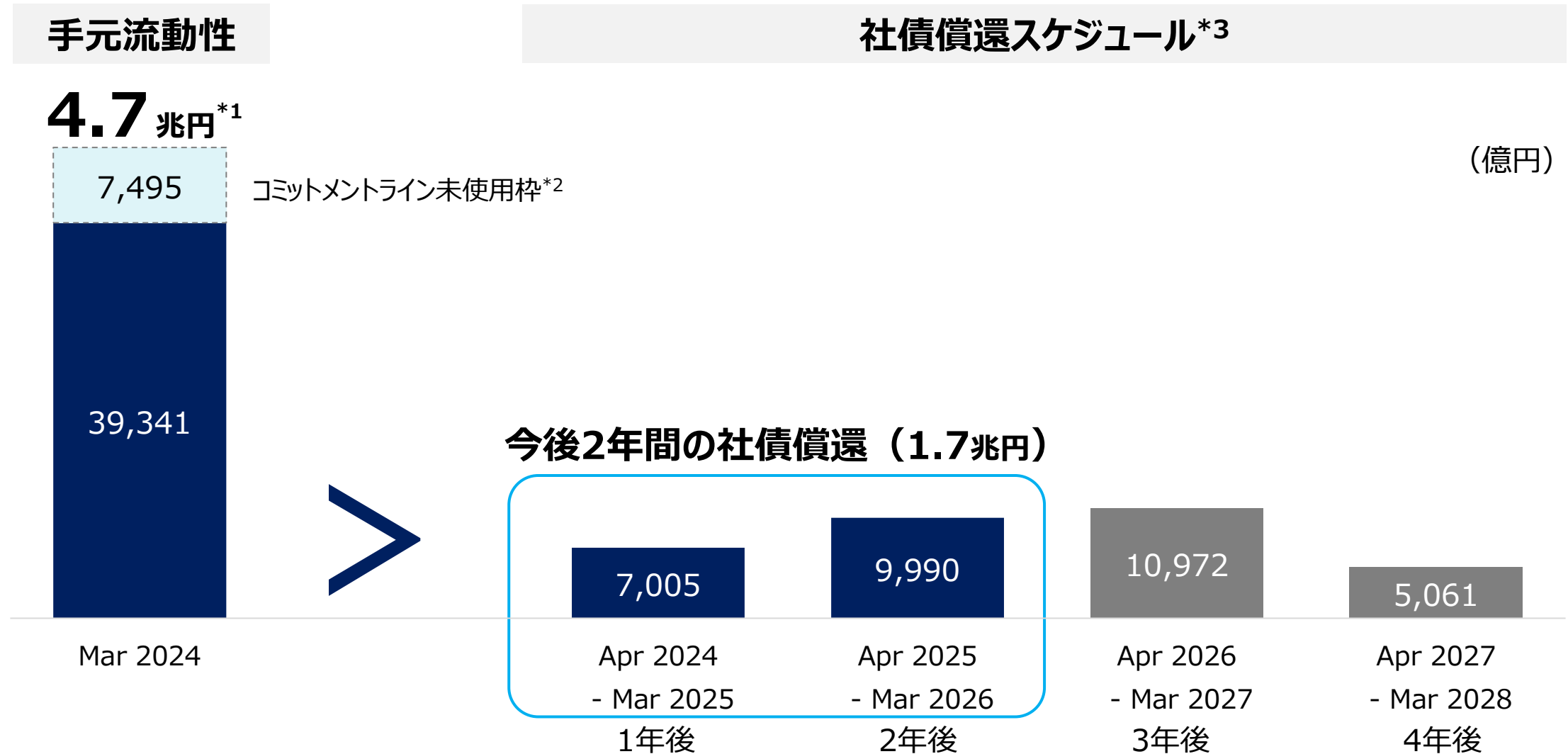
*1 各四半期末時点の数値を記載

*2 FY22Q4末を含む

*3 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

手元流動性と今後の社債償還

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保



*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）

*2 2024年3月末時点のコミットメントライン枠7,495億円相当は全額未使用

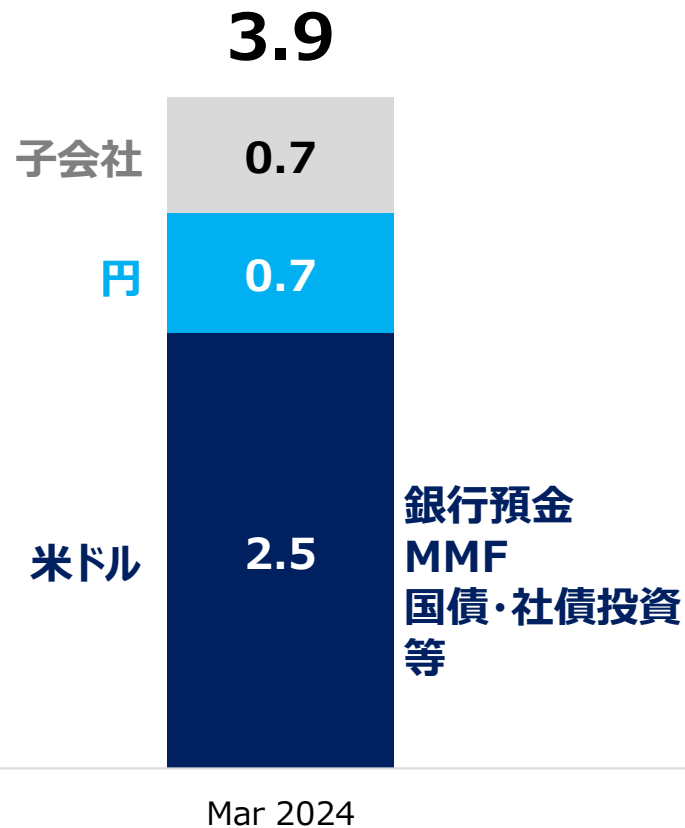
*3 2024年3月末時点発行残高。但し、2024年4月に発行した国内シニア債を含む。

手元流動性の通貨内訳と利回り

主に米ドル預金で高利回りの運用を継続。FY23の年間受取利息は約1,600億円*1

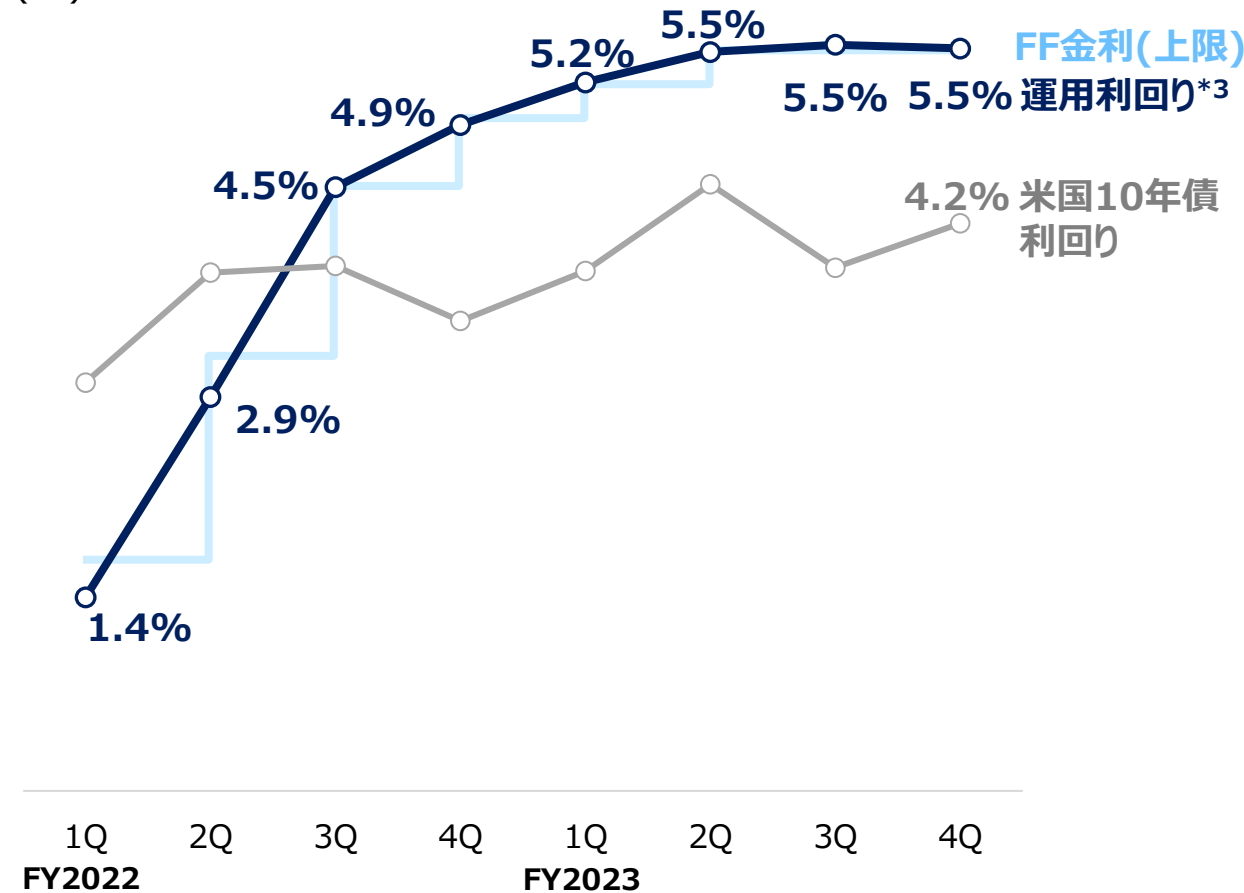
手元流動性の内訳*2

(兆円)



当社米ドル預金等の利回り

(%)



*1 SBG(株)及びSB NorthstarがSBG連結外部から受け取った利息の合計 (キャッシュフローベース)

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物および債券投資は含む。)

*3 四半期平均

円安ドル高はNAVにポジティブに影響。一方、連結純利益にはネガティブに影響

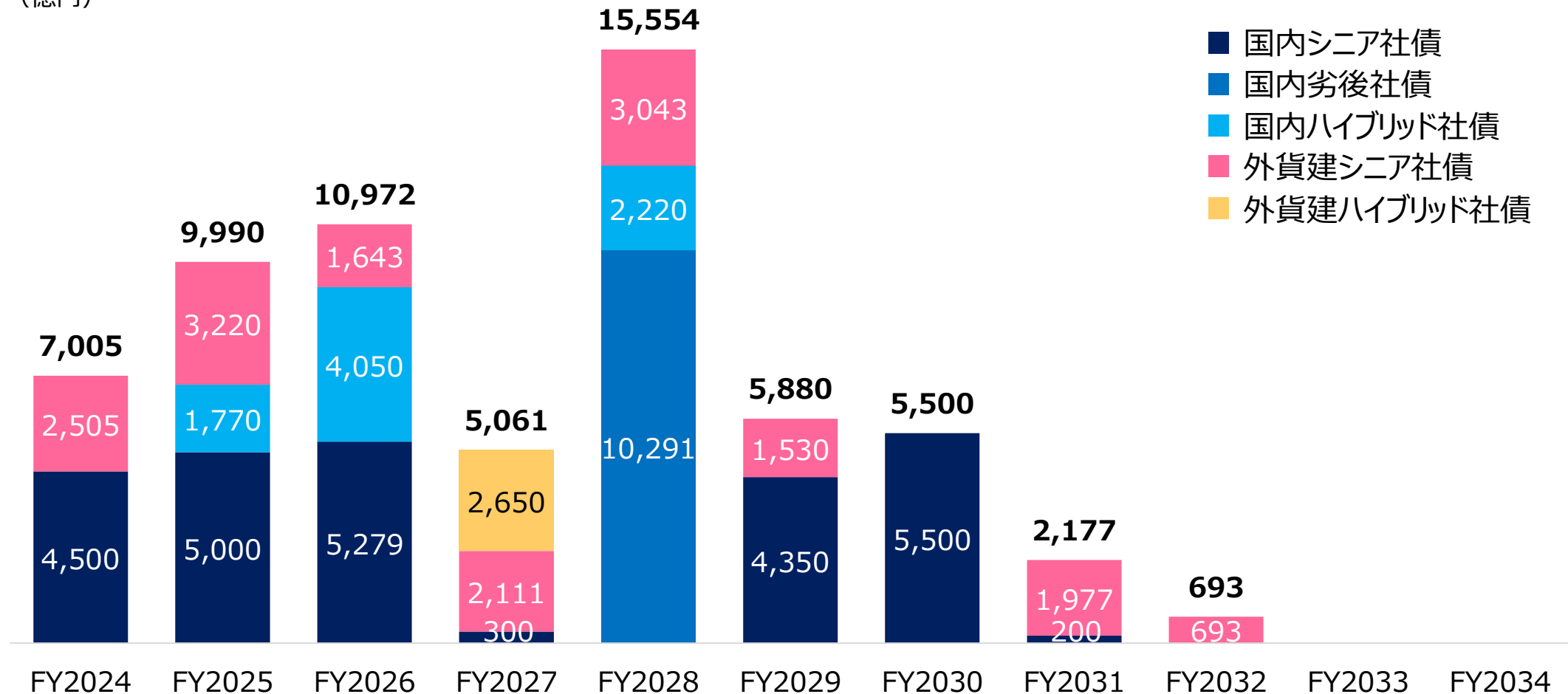
	四半期 (FY23Q4)	年度 (FY22Q4-FY23Q4)
為替変動 (ドル円の変動)	10円円安 (6.8%)	18円円安 (13.4%)
NAVへの影響*	+1.8兆円	+3.3兆円
連結純利益への影響	-0.4兆円	-0.7兆円

* FY23Q4時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算

社債償還スケジュール

手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)



- 2024年3月末時点発行残高。但し、2024年4月に発行した国内シニア債を含む。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=151.41円、1ユーロ=163.24円にて換算

国内シニア社債の発行（3月・4月）

リテール債・ホールセール債ともに、大規模な社債調達を実行
投資家の当社クレジット支持を確認する象徴的なディールに

2024年3月発行 シニアリテール債

発行額	5,500億円 (過去最大)
年限	7年
利率	3.04%

2024年4月発行 シニアホールセール債

発行額	総額1,000億円 (過去最大)		
年限	3年	5年	7年
利率	1.799%	2.441%	2.900%

史上最大のシニアリテール債

【SBI証券：販売額400億円】

募集開始から**26分**で完売

国内シニア社債の対国債スプレッド推移*1



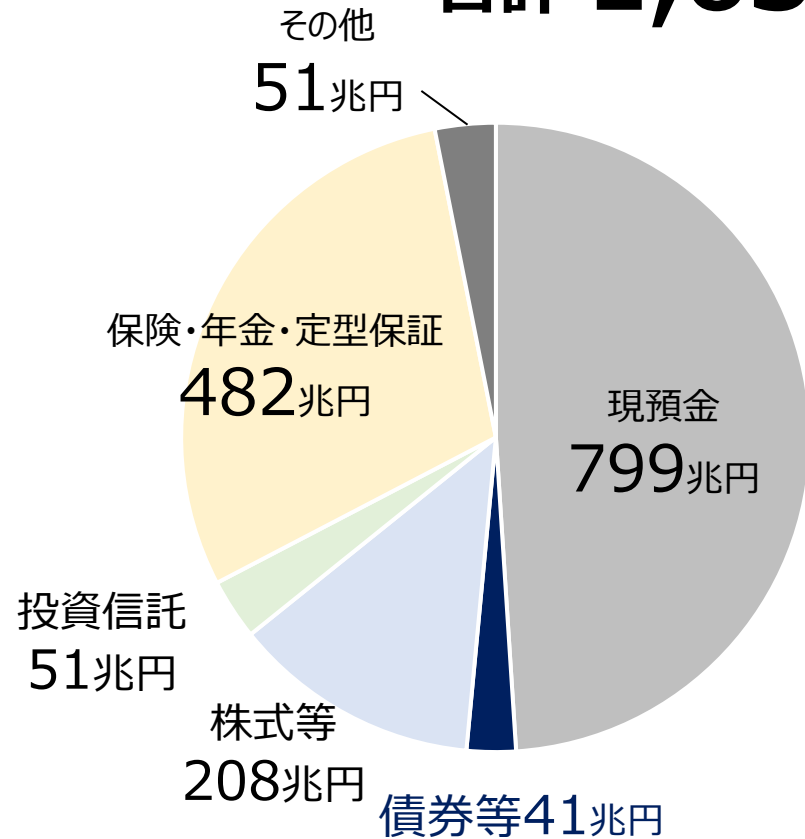
*1 日本証券業協会公表値を基に当社作成

家計の金融資産の状況（日本銀行 資金循環統計）

家計の金融資産は2,000兆円を超えて継続的に増加

2005年末時点

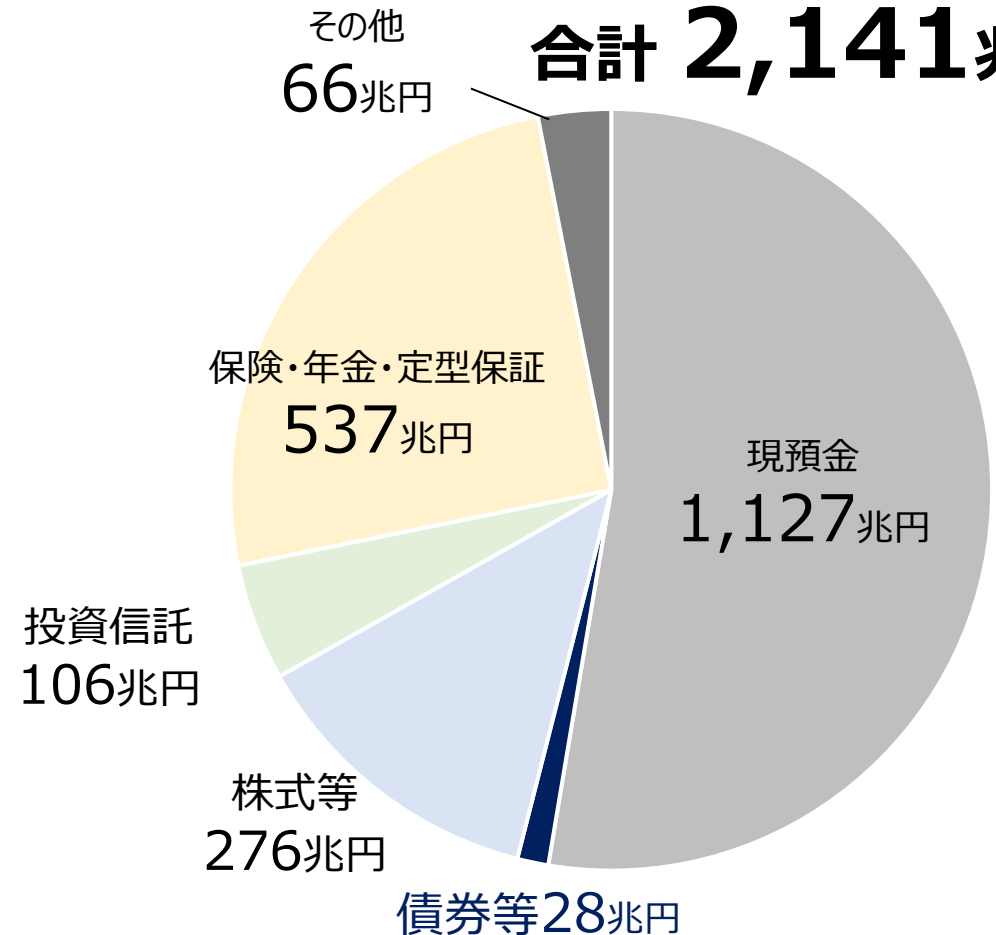
合計 **1,631兆円**



うち事業債**1.2兆円**

2023年末時点

合計 **2,141兆円**



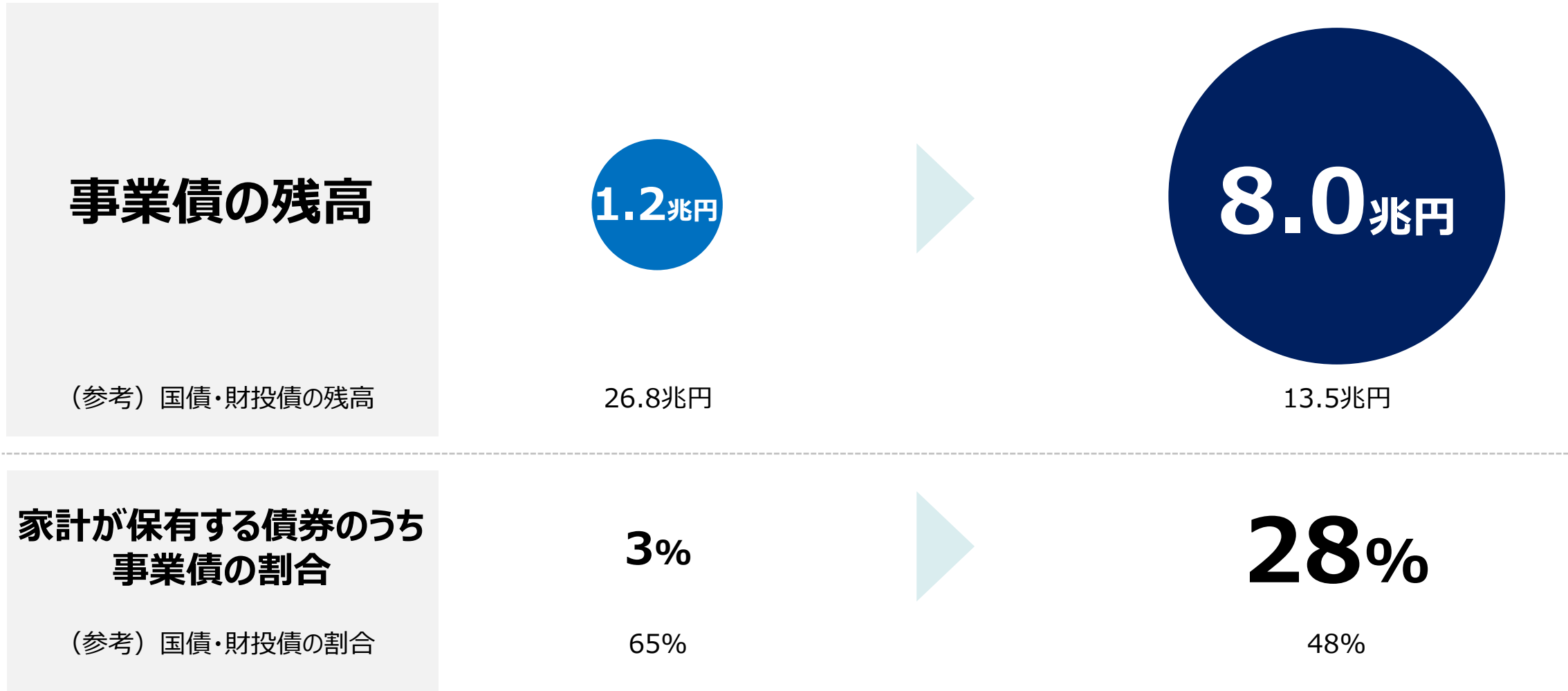
うち事業債**8.0兆円**

家計における事業債投資の成長

家計における事業債投資は、国債・財投債に次ぐ規模まで大幅に拡大

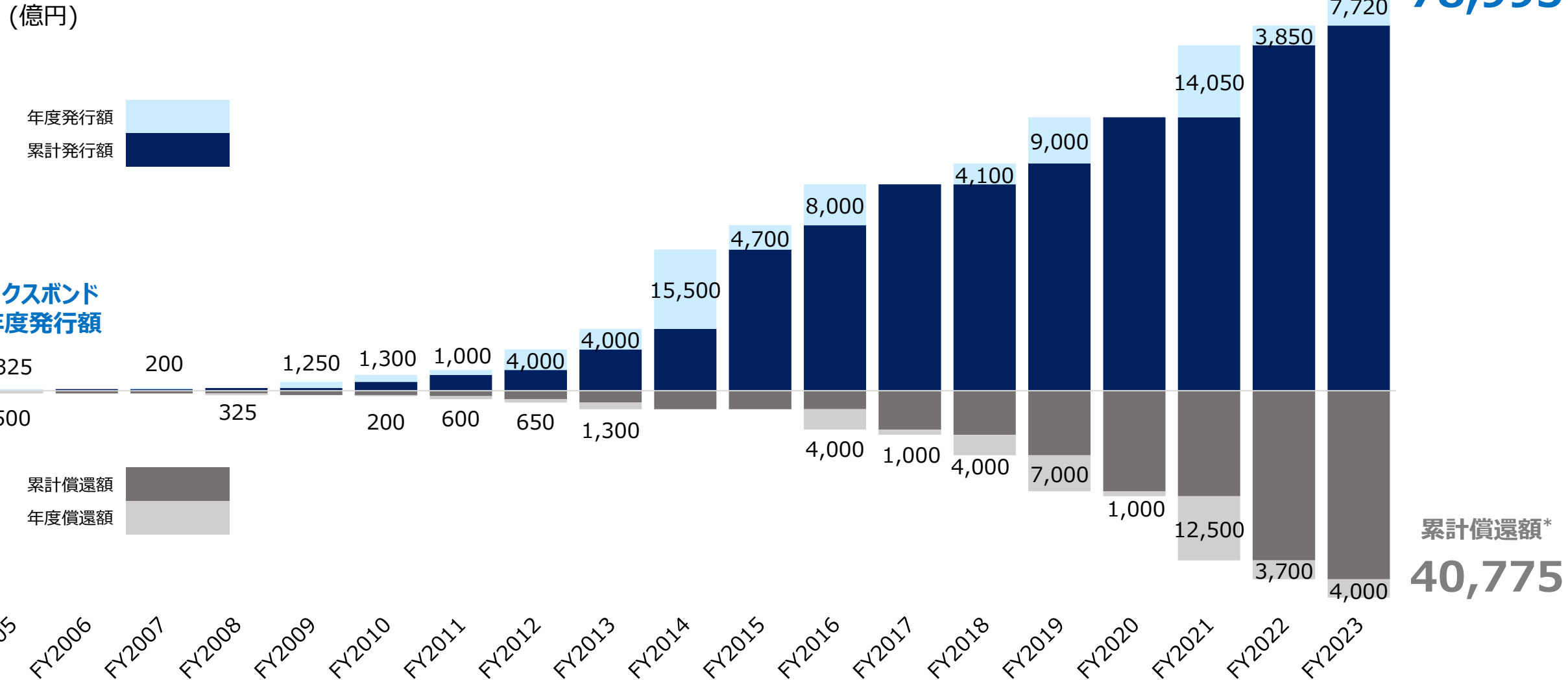
2005年末時点

2023年末時点



当社リテール債の発行および償還の実績

大規模な発行を継続。累計発行額は8兆円に上る。発行と償還のサイクルが継続



*償還額はバイバック考慮前

SBGによるリテール債市場の牽引

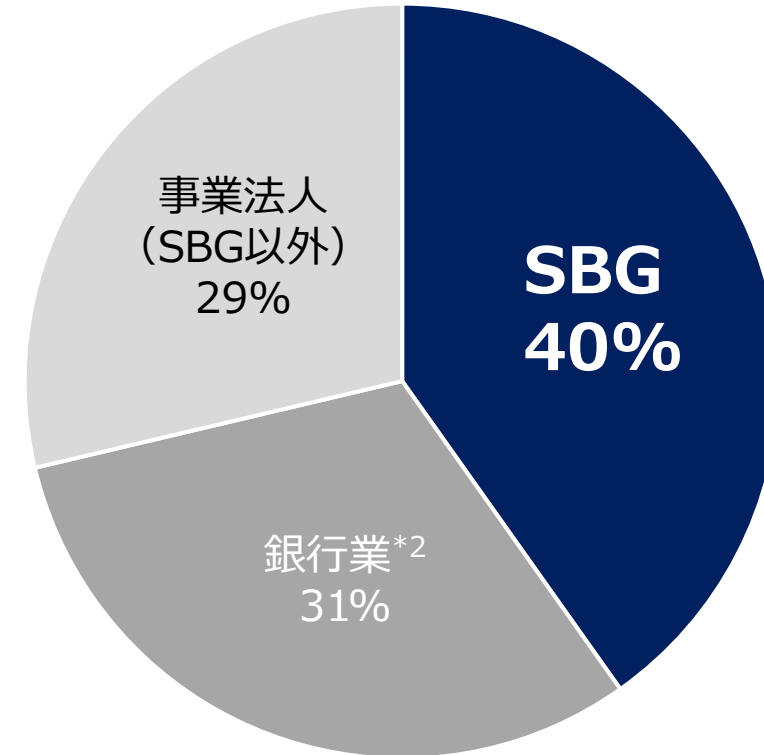
SBGによる継続的なリテール債発行は、リテール債市場規模の拡大に大きく貢献

2024年3月末時点 発行体別リテール債残高*1

リテール債残高 上位10社

No	発行体名	残高 (億円)
1	ソフトバンクグループ	38,710
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	13,670
3	みずほフィナンシャルグループ	9,070
4	三井住友フィナンシャルグループ	5,170
5	楽天グループ	4,000
6	ソフトバンク	2,600
7	SBIホールディングス	2,000
8	三菱HCキャピタル	1,900
9	イオンモール	1,900
10	三井住友トラスト・ホールディングス	1,610

業態別 残高割合



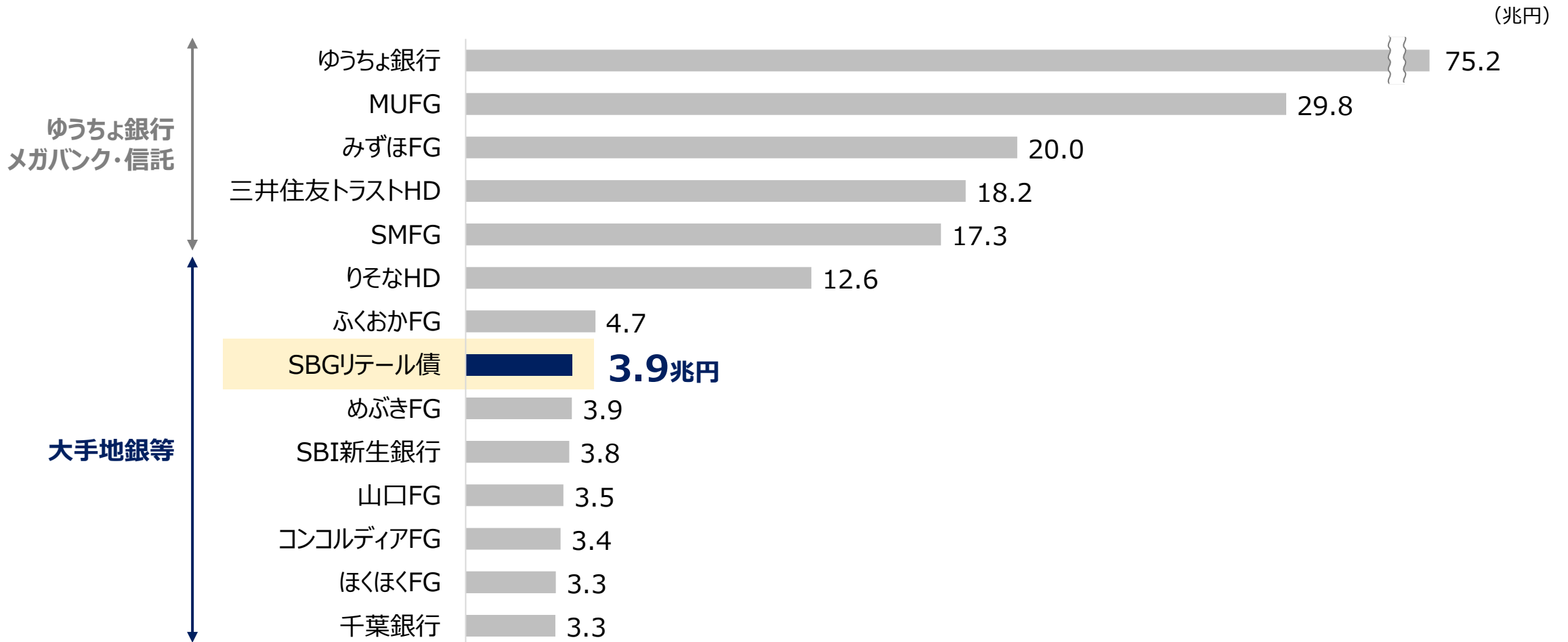
*1 各種ベンダー、開示資料より作成。ソフトバンクグループの残高はバイバック考慮後

*2 銀行業は、三菱UFJフィナンシャル・グループ、みずほフィナンシャルグループ、三井住友フィナンシャルグループ、三井住友トラスト・ホールディングス、山口フィナンシャルグループ、コンコルディア・フィナンシャルグループ

SBGリテール債と銀行定期性預金の残高比較

大手地銀の定期性預金に匹敵する規模まで成長

大手銀行の国内定期性預金残高*1 + SBGリテール債残高*2



*1 各社の2023年3月期有価証券報告書より当社作成。国内定期性預金残高3兆円以上の金融機関を抜粋

*2 SBGリテール債の残高は2024年3月末時点

個人投資家に対する金融商品提供の取り組み

幅広いミドルリスク・ミドルリターン商品の継続提供により、「貯蓄から投資へ」を後押し

ミドルリスク・ミドルリターン

ローリスク・
ローリターン

ハイリスク・
ハイリターン

	残高*1	取組開始	投資期間	
<p>預金</p> <p>個人向け 国債</p> <p>⋮</p>	2.2兆円	2005年	7年以下*2	<p>株式</p> <p>デリバティブ</p> <p>⋮</p>
<p>ホークス ボンド (シニア債)</p>	1.0兆円	2014年	7年*3	
<p>劣後債</p>	6,270億円	2016年	5年後 初回コール	
<p>ハイブリッド債</p>	1,895億円	2014年	1年程度	
<p>金銭信託</p>				

*1 2024年3月末時点

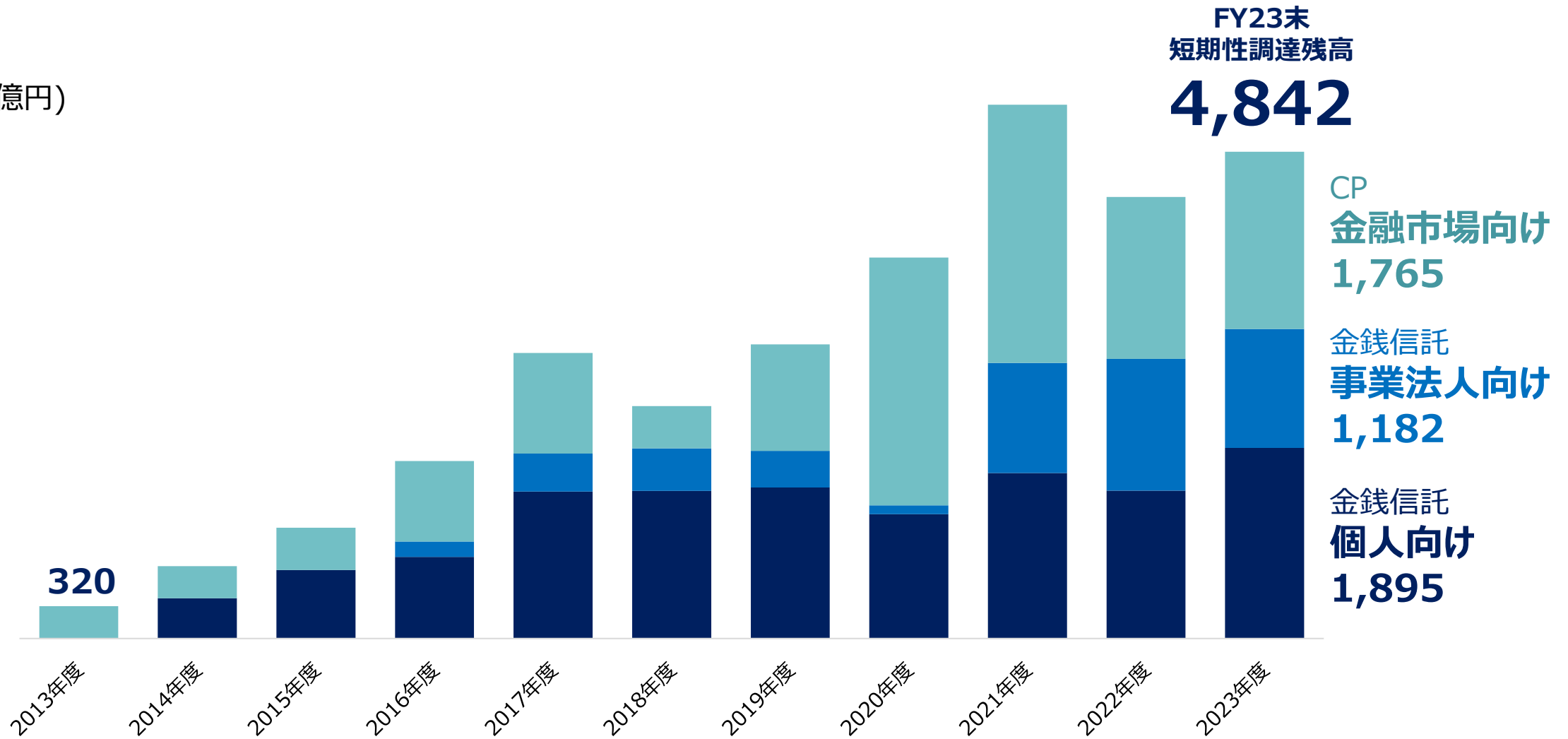
*2 残存するホークスボンドの年限は6年債または7年債

*3 残存する劣後債の年限は7年債

短期性調達の残高推移

幅広い投資家の短期資金運用ニーズに応えるべく、プロダクトを多様化

(億円)



(注) 各年度末時点

FY2024 調達・運用方針

市場環境を注視しながら柔軟に手段と規模を選択

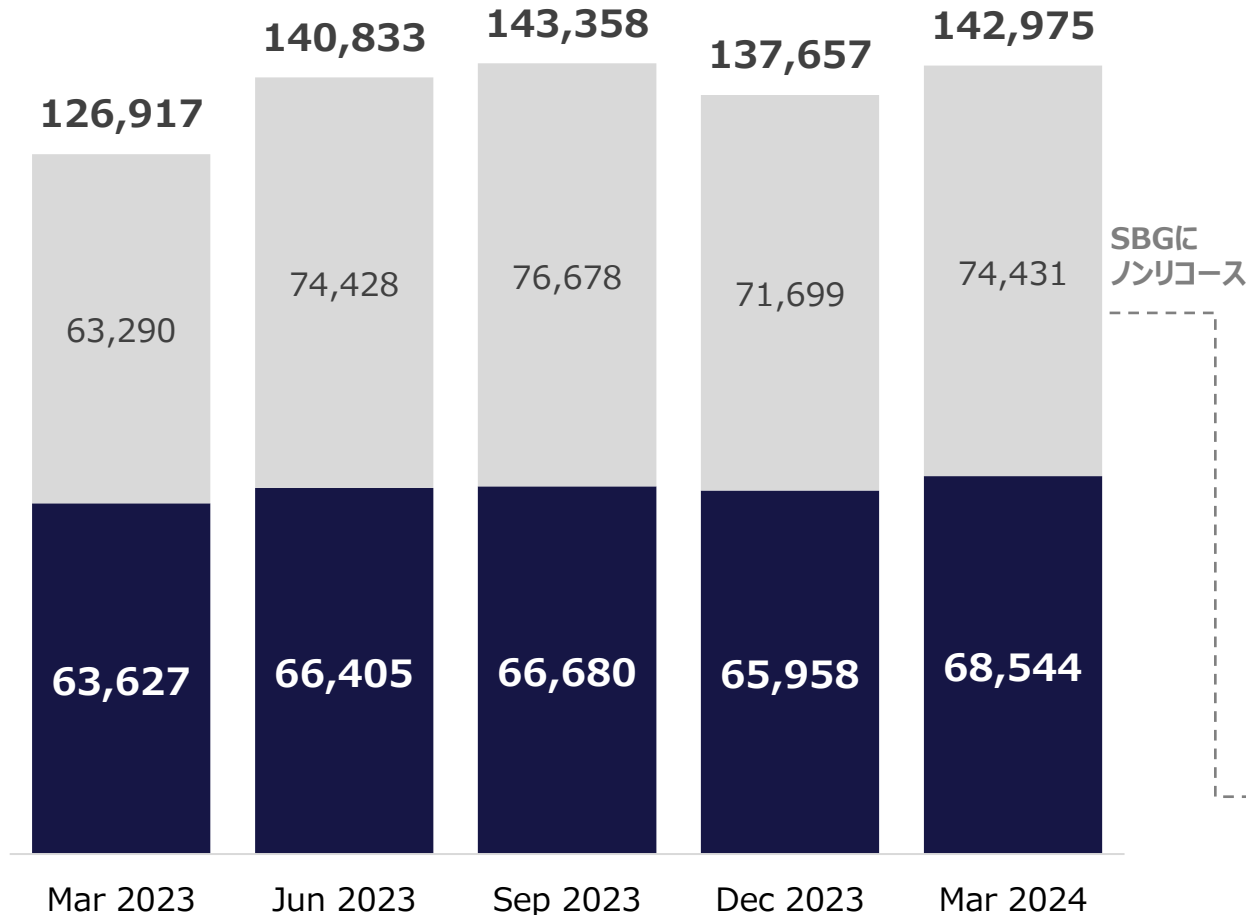
商品	方針
国内債	主にリファイナンスを想定（FY24に4,500億円の償還を迎える予定）
外債	主にリファイナンスを想定（FY24中に\$1.9B相当の償還を迎える予定）
銀行ローン・短期性調達	コミットメントライン※・金銭信託・CPは継続的にロール ※3月末時点で借入残高なし
アセットバック・ファイナンス	上場株21兆円*を活用した調達の多様化を常に検討
ハイブリッド・ファイナンス	主にリファイナンスを想定（11月に劣後ローン840億円の初回コール日を迎える予定）
余資運用	MMF・国債・社債など運用の多様化を継続

* アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、アリババを含む。アセットバック・ファイナンスを除く。アームの取引対価未払金控除前。

SBG単体 有利子負債*1

為替影響および国内債の発行によりノンリコースを除く有利子負債は増加

(億円)



2023年12月末からの主な変動要因	
• 株式先渡契約金融負債の増加	+1,721億円*2
- 株式先渡契約金融負債の為替影響	+3,215億円*3
- 現物決済	-1,760億円 (アリババ)
• マージンローンの為替影響	+801億円*3
• 国内社債の発行・償還による増加	+1,501億円
• 外債の為替影響	+944億円*3

2024年3月末 内訳		(億円)
		対12月末
SBG 借入金		
銀行借入	3,277	+165
ハイブリッドローン	1,353	+1
小計	4,630	+166
SBG 社債・CP		
国内シニア債	23,991	+1,442
国内劣後債	10,190	+5
国内ハイブリッド債	7,921	+1
外債	19,374	+1,007
CP	1,765	-65
小計	63,241	+2,390
SBG リース負債		
	94	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債	51,725	+1,721
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,969	+200
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,988	+3
アーム株式を活用したマージンローン	12,749	+808
その他	580	+33
小計	75,011	+2,765
合計	142,975	+5,318

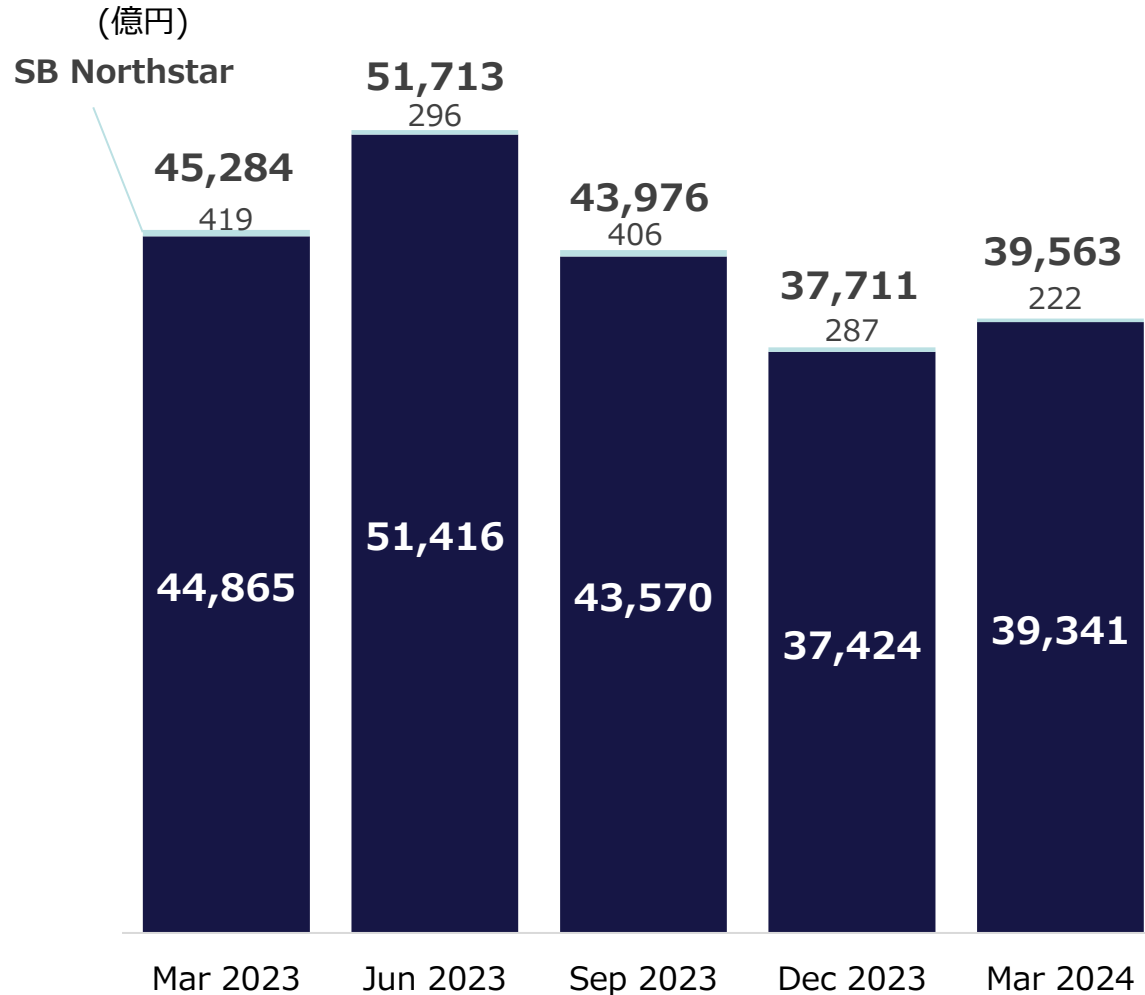
*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

*2 内訳は主要な変動要因のみ。

*3 為替影響は概算値

SBG単体 手元流動性

主に国内債の発行および為替影響により手元流動性は増加



2023年12月末からの主な変動要因	
増加	減少
・国内社債発行 (+5,500億円)	・国内社債償還 (-3,999億円)
・米ドル預金等の為替影響 (+1,204億円) *1	・SVF2・LatAmへの拠出金 (-\$0.6B)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 債券投資。SBG単体ベース

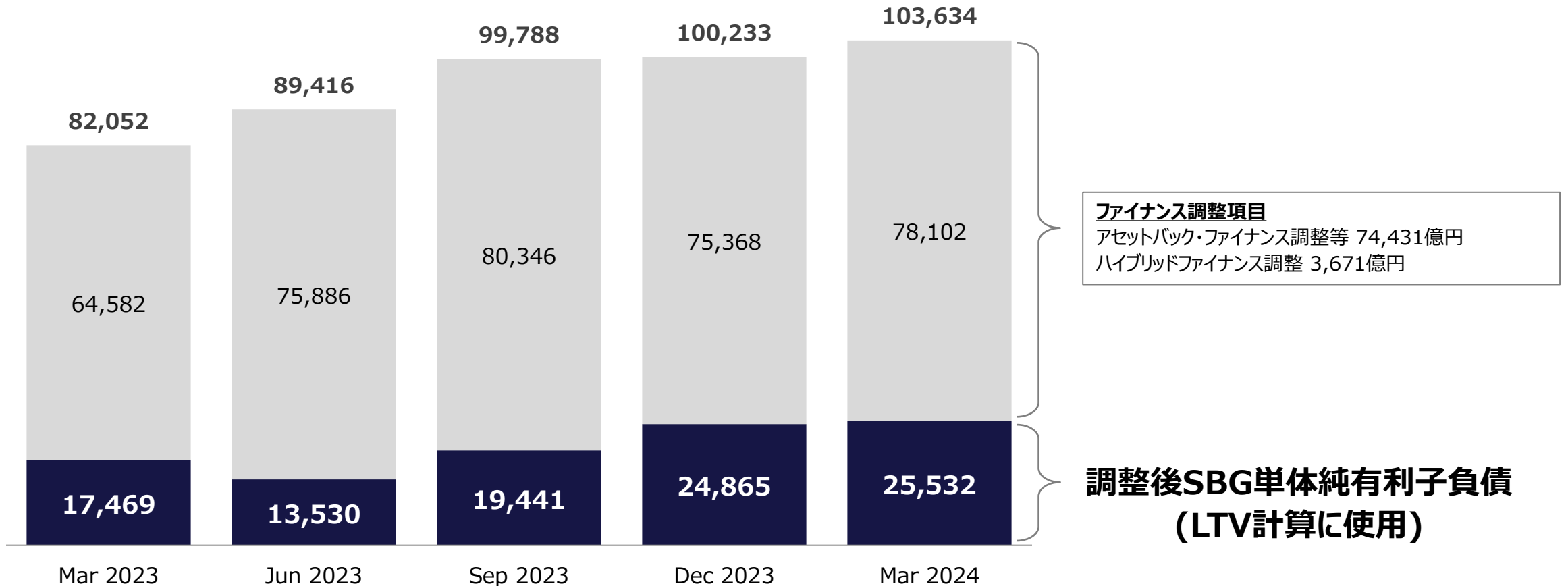
・ 2023年9月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstarの債券投資を含む

*1 2024年3月末時点の米ドル預金等の残高に対する為替レートの変動 (概算値)

SBG単体 純有利子負債

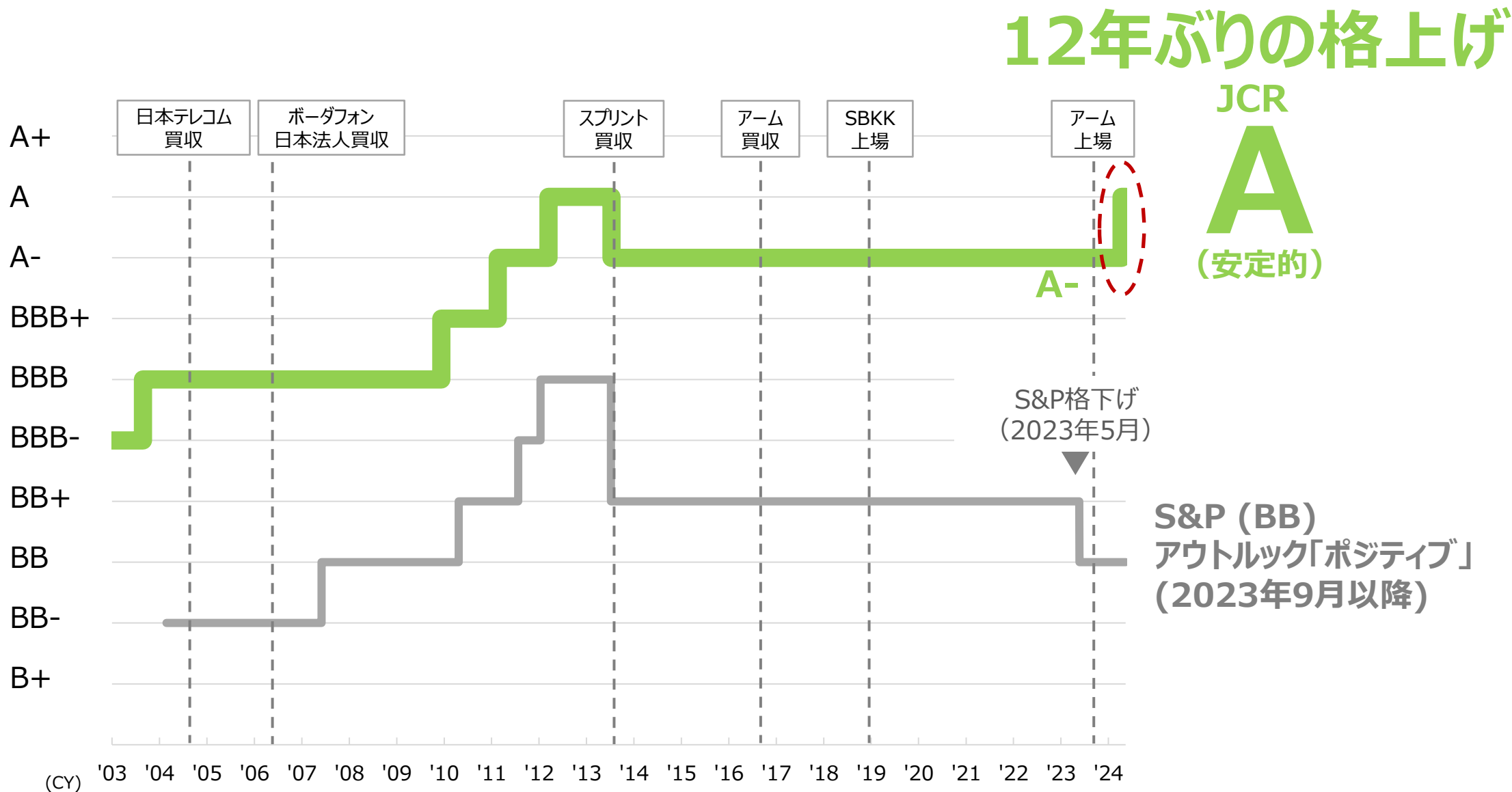
調整後純有利子負債は横ばいで推移

(億円)



(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

SBGの格付推移



(注) 2024年5月13日時点

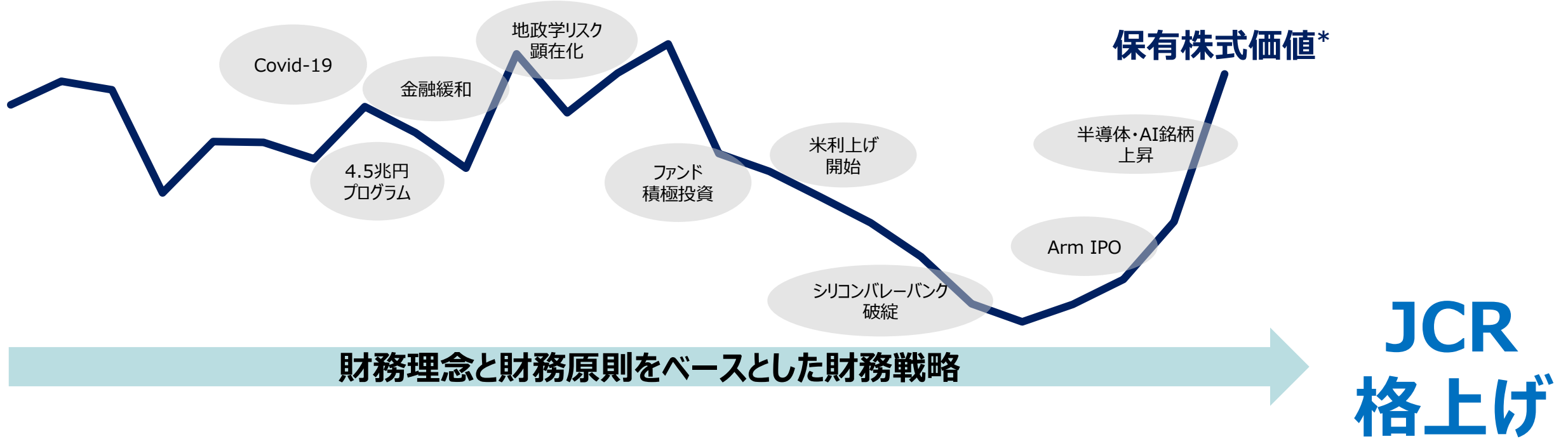
財務戦略の考え方

投資戦略を実行するための財務戦略の策定



財務戦略の変遷

環境に応じた財務戦略を実行



財務理念と財務原則をベースとした財務戦略

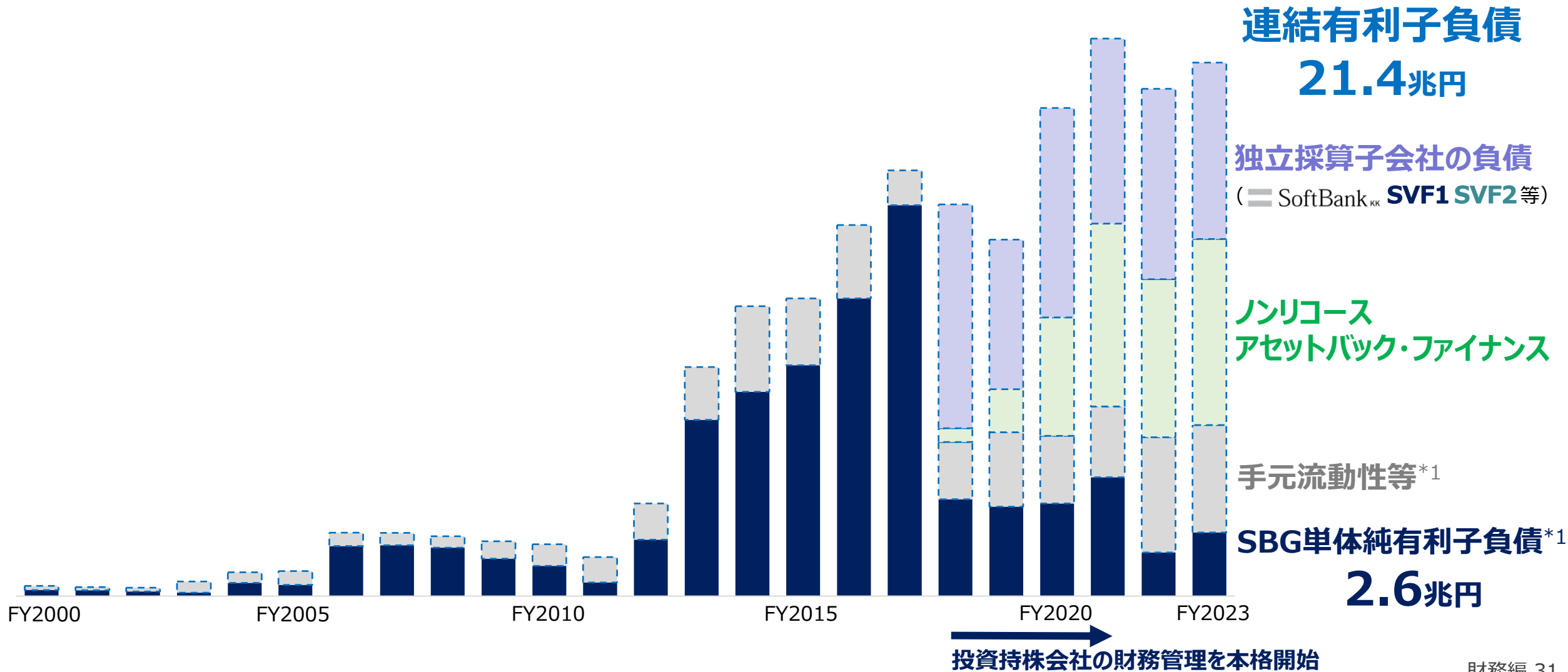
JCR
格上げ

FY18	戦略的持株会社としての 最適レバレッジの追及
FY19	投資会社としての 財務安定性と機動性を両立
FY20	市場環境に応じた 機動的な財務運営
FY21	投資会社として 最適な財務戦略の確立
FY22	投資会社として 最適な財務体制をすでに確立 あらゆる変化に対応できる柔軟かつ機動的な財務運営
FY23	「守り」「攻め」に対応できる財務運営

* 2018年3月末以降、各四半期末時点の推移を記載

投資持株会社の財務管理：連結有利子負債の内訳

資産の有効活用によりSBGが返済義務を負うネットデットは低水準に管理



*1 ハイブリッドファイナンス調整を含む（負債計上されているハイブリッド社債・ローンの50%を控除し、資本計上されているハイブリッド社債の50%を加算）

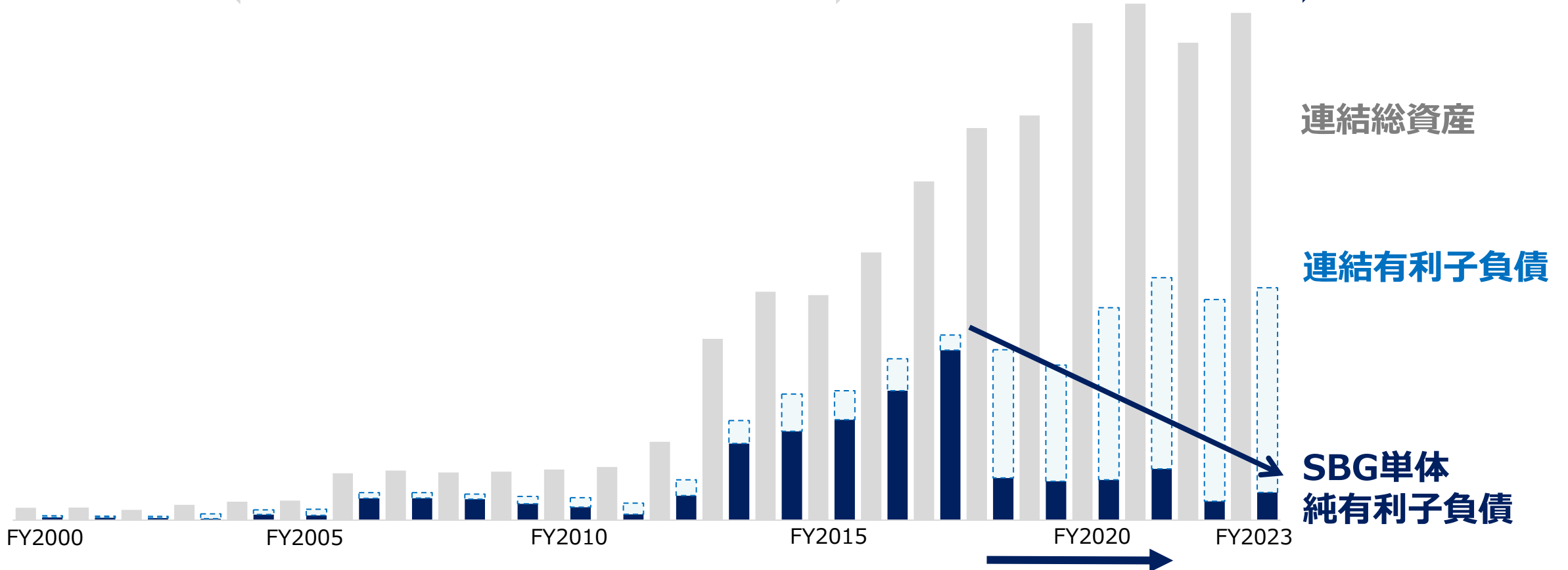
投資持株会社の財務管理：資産と負債の推移

SBGが返済義務を負う純有利子負債を低位に保ちながらグループ全体の成長を実現

事業キャッシュフローに依拠したレバレッジによる事業拡大フェーズ

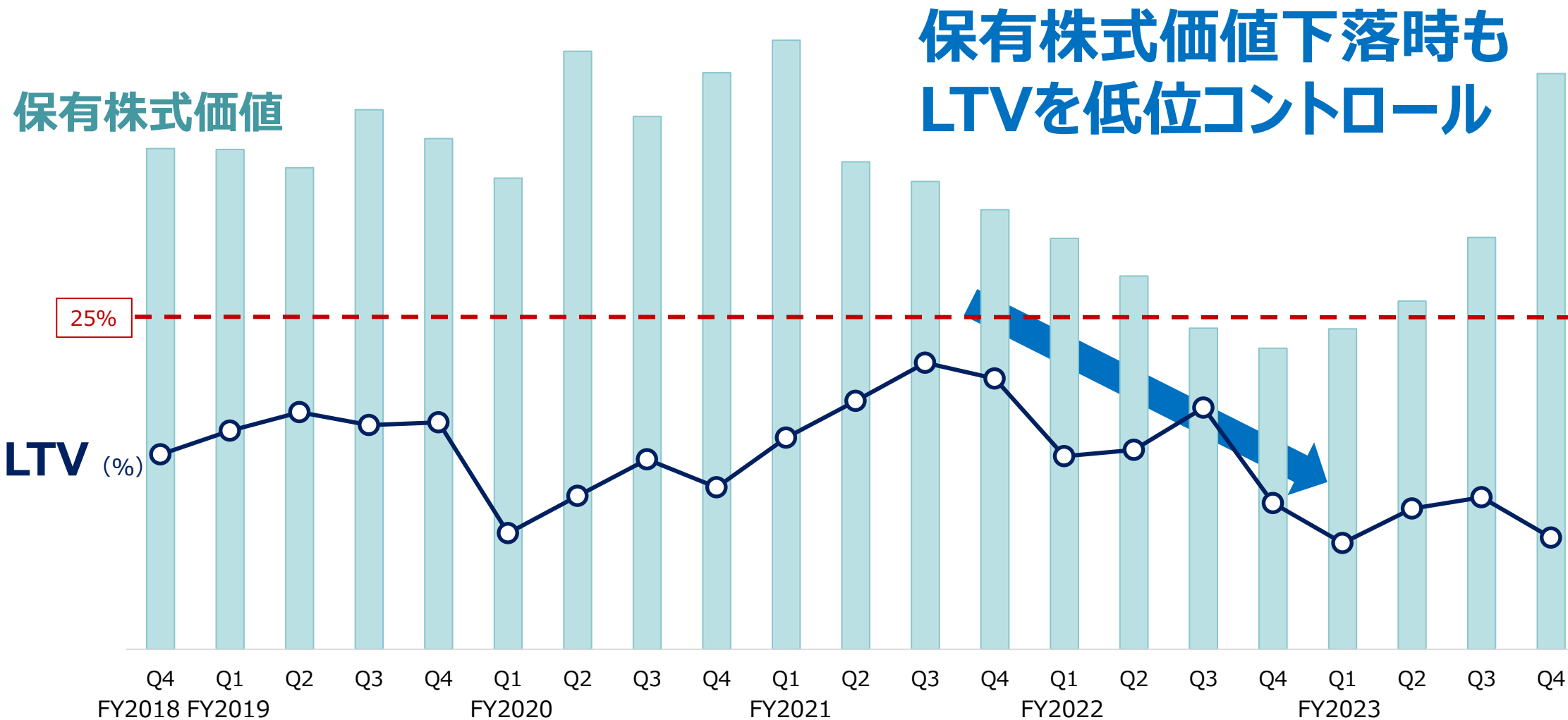


投資持株会社として保有資産を有効活用したレバレッジ管理へ



投資持株会社の財務管理を本格開始

(注) 各年度末時点

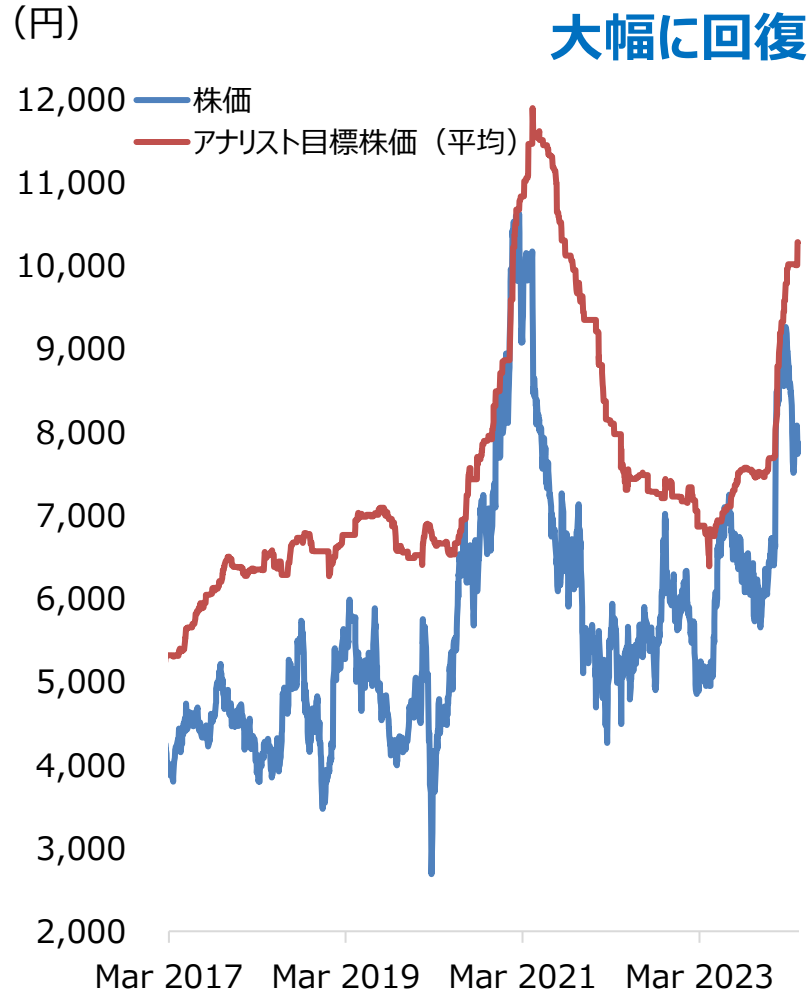


(注) 各四半期末時点

マーケットからの評価

エクイティ・クレジットともに堅調に推移

当社株価の推移*1



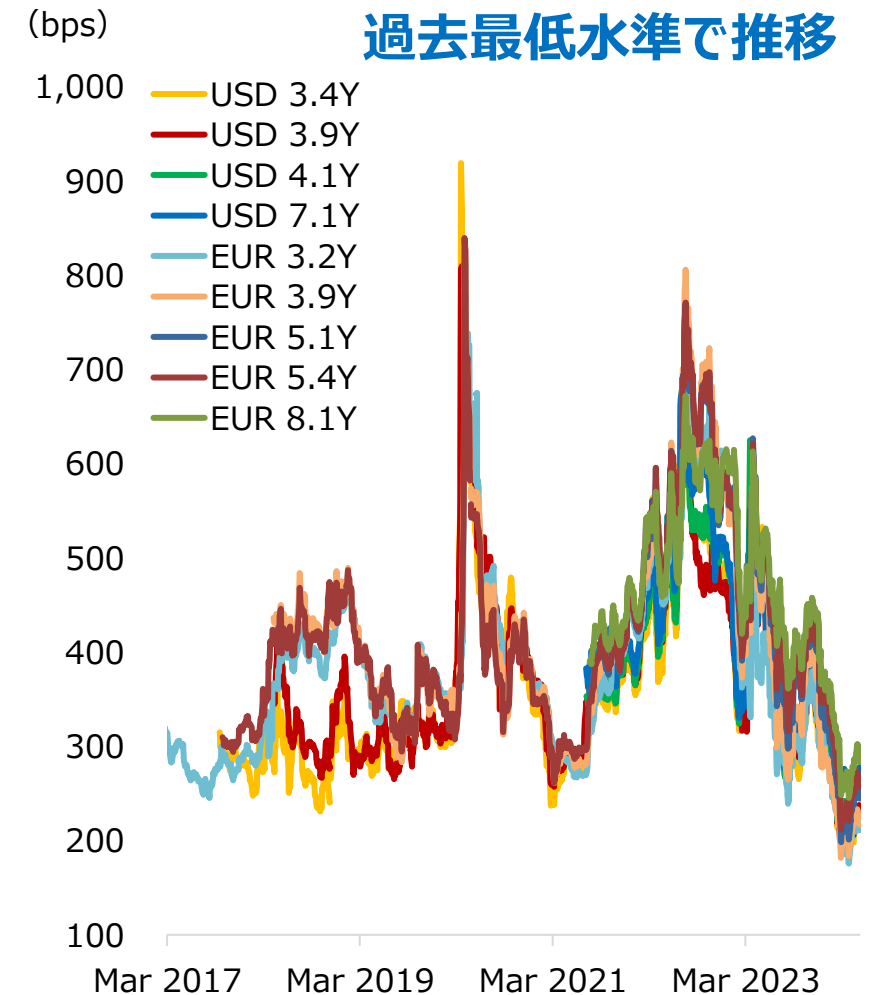
国内債発行時の記事*2

日本格付研究所（JCR）は11日、ソフトバンクグループ（SBG）の長期発行体格付けを「シングルAマイナス」から「シングルA」に格上げした。JCRによると発表は12年ぶり。SBGは機関投資家向けに社債700億円程度を発行する準備中と見られる。前回の格上げは2011年3月で「シングルA」だった。条件決定や今後の社債発行に追い風となる見通しだ。

ソフトバンクG 格上げ

JCR 12年ぶり、社債発行追い風

当社シニア外債スプレッド*1



*1 Bloombergを基に当社作成。2024年5月10日時点

*2 出典：日本経済新聞（2024年4月12日）

財務理念

投資戦略と
シンクロした財務運営

財務原則

- ・財務方針の堅持
- ・あらゆる環境変化へ柔軟に対応
- ・各ステークホルダーとの信頼関係構築
(株主還元と財務改善の最適なバランスを追求)

FY24 財務戦略

将来NAV拡大のための成長投資を最優先

1. 潤沢な手元流動性の有効活用
2. 戦略投資を支えるノンリコース調達の積極活用
3. ポートフォリオのモニタリング強化→回収と再投資

1

通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

サステナビリティの推進

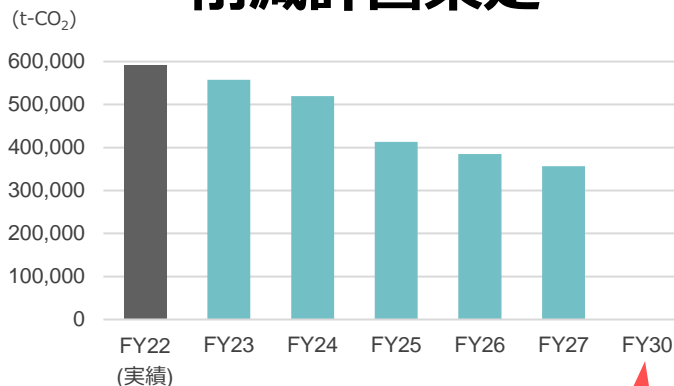
責任あるAI

AIガバナンスWGの設置

SBGらしいAIガバナンス
の在り方を検討

気候変動

SBGおよび主要子会社の
GHG排出量 (Scope1,2)
削減計画策定



グループ目標
FY2030カーボンニュートラル達成

<https://group.softbank/sustainability/environment#2>

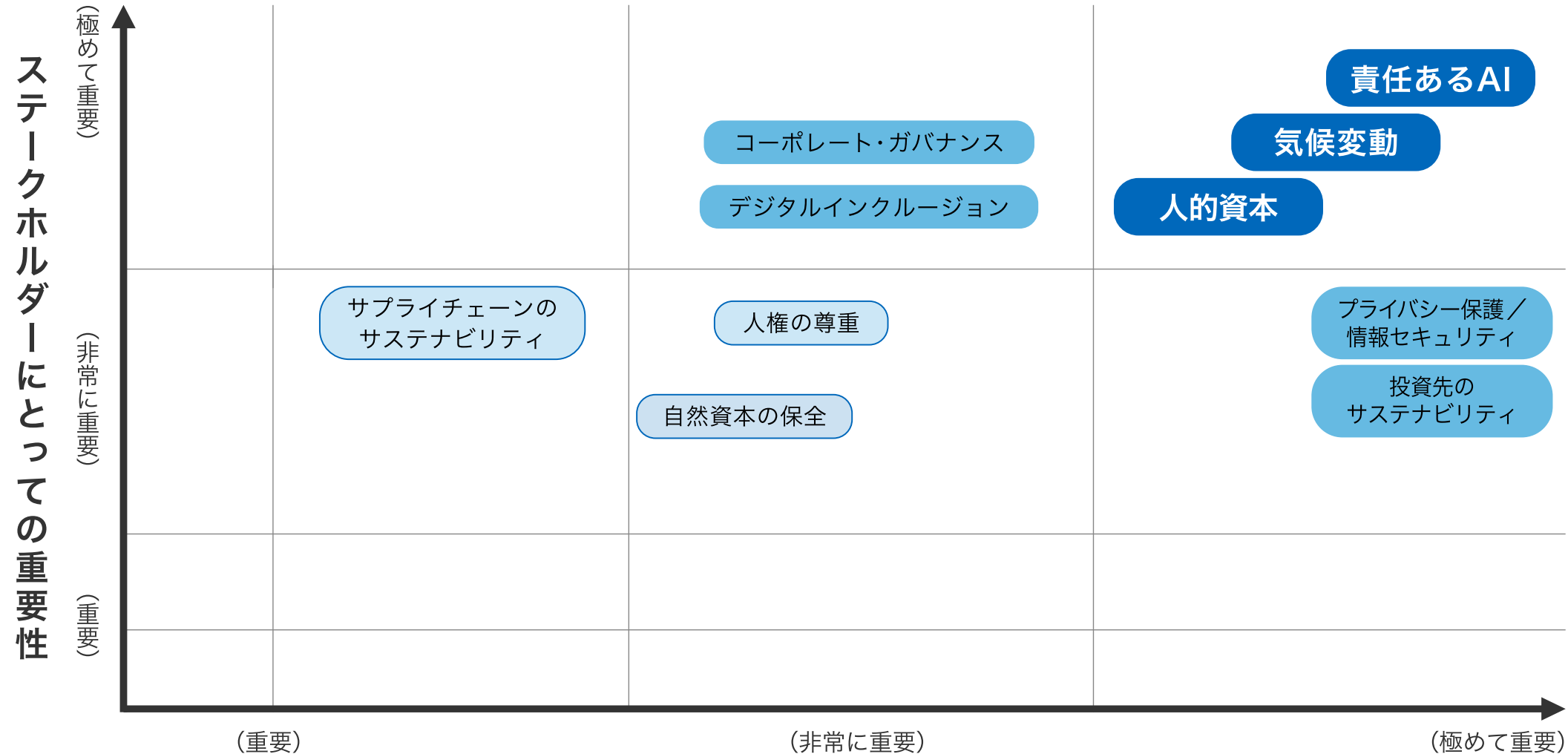
人的資本

自律的でプロフェッショナルな
人材の確保と成長・活躍支援

社員が個性や能力を最大限に
発揮しながら、挑戦し活躍できる
社内環境を整備

マテリアリティの見直し

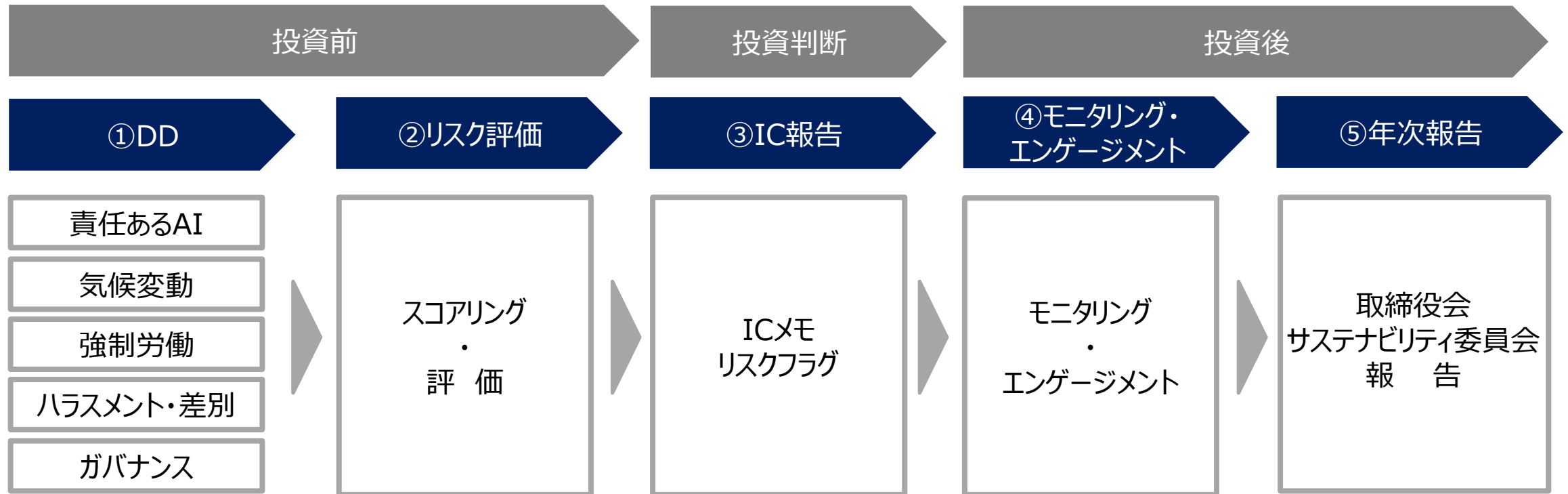
社会環境や事業環境などの変化を踏まえて見直しを実施



当社グループにとっての重要性

投資を通じたサステナビリティの推進：ESG統合

投資会社であるSBGは、投資を通じてサステナビリティを推進
 投資プロセスにおいて、サステナビリティに起因するリスクと機会を評価する枠組みを整備し運用



サステナビリティ課題の解決に資する投資先

投資を通じて環境課題や社会課題の解決を目指す



能登半島地震への支援

令和6年能登半島地震の被災者や被災地の支援のためさまざまな活動を実施



画像提供：
被災地NGO協同センター



画像提供：Civic Force

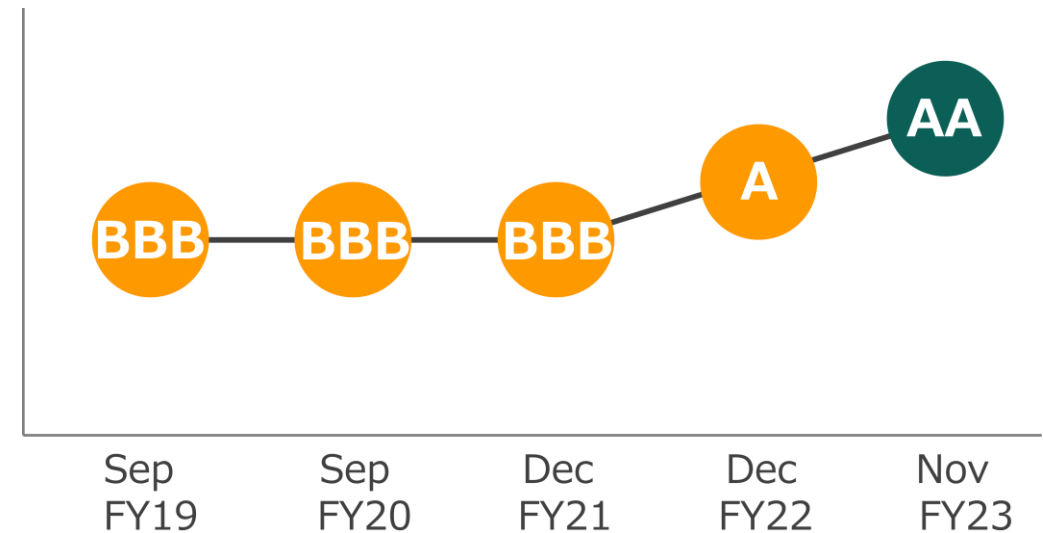
MSCI 2年連続ランクアップ°

2年連続ランクアップで「AA」評価に
環境評価でも2年連続二酸化炭素排出は満点獲得

MSCI
ESG RATINGS



スコア推移

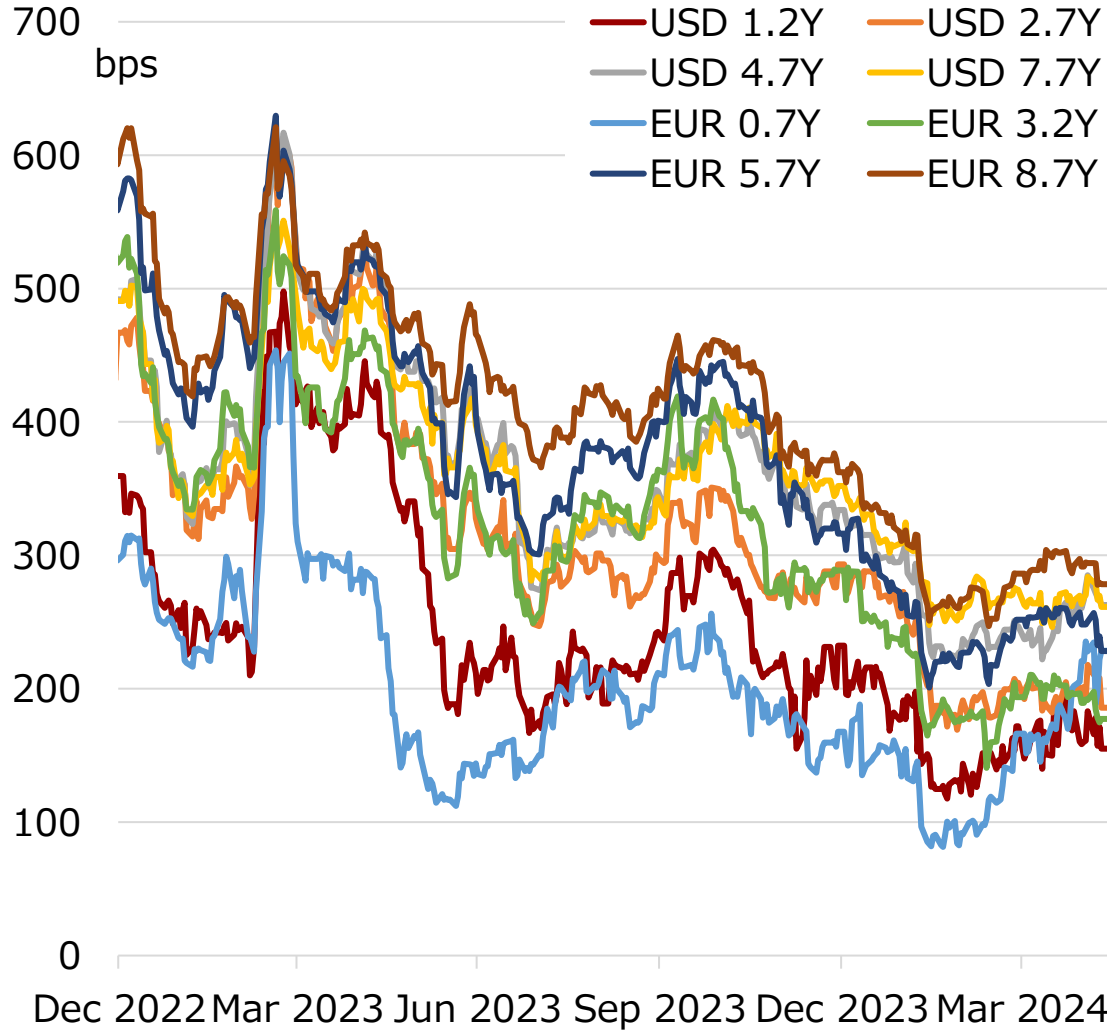


業界のLeader(AA)へ

THE USE BY SoftBank Group Corp. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF SoftBank Group Corp. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

Appendix

SBG シニア外債スプレッド



SBG 5年CDS



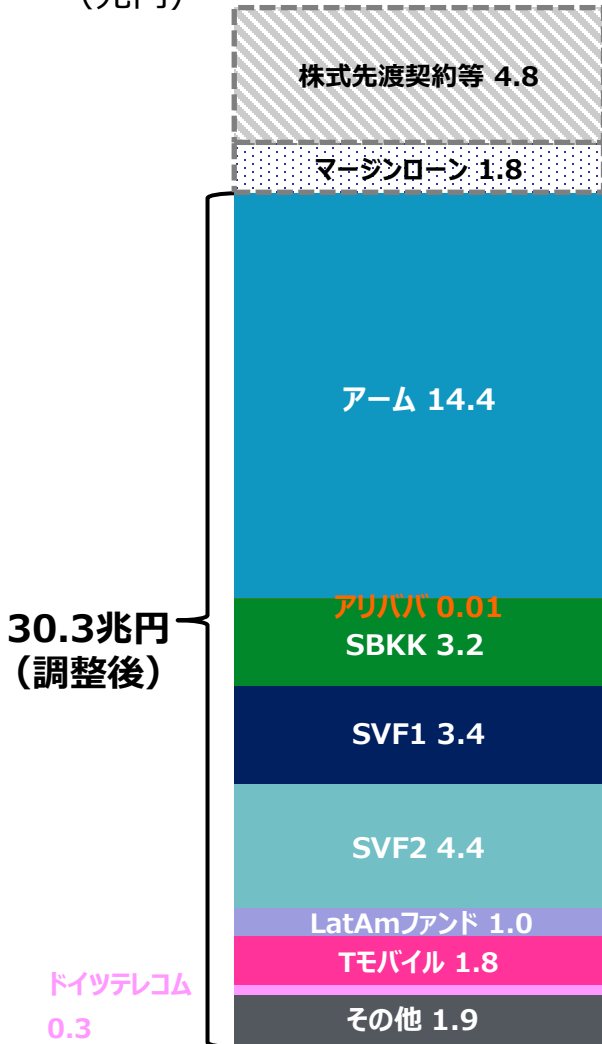
(注) 2024年5月10日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

2024年3月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=151.41円

36.9兆円
(調整前)

(兆円)



保有株式価値
(調整後)

保有株式価値
(調整前)

14.4兆円 =

15.6兆円

保有株式数 923百万株*1 × 株価 \$124.99*1 - 取引対価未払金*2

0.01兆円 =

3.8兆円

保有株式数 343百万株*1 × 株価 \$72.36*1

3.2兆円 =

3.7兆円

保有株式数 1,915百万株 × 株価 1,951.0円

3.4兆円 =

3.4兆円

各ファンドの保有資産価値相当 × SBG持分 + 成功報酬等

4.4兆円 =

4.4兆円

1.0兆円 =

1.0兆円

1.8兆円 =

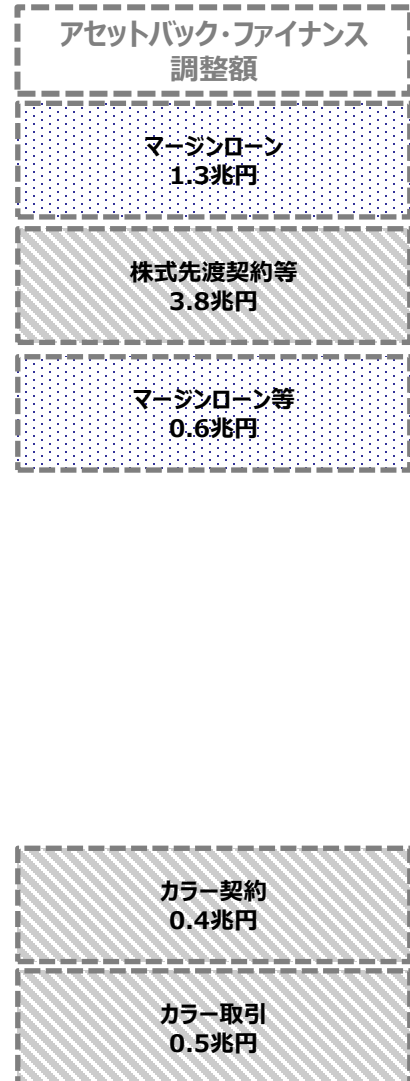
2.2兆円

保有株式数 92百万株*3 × 株価 \$163.22 - 株式購入オプションに係るデリバ金融負債

0.3兆円 =

0.8兆円

保有株式数 225百万株 × 株価 €22.50



(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 *2 SVF1からのArm株式買取に伴う未払金120億米ドル（1.82兆円相当）

*3 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数(34,971,809株)を含む。

Mar 2024

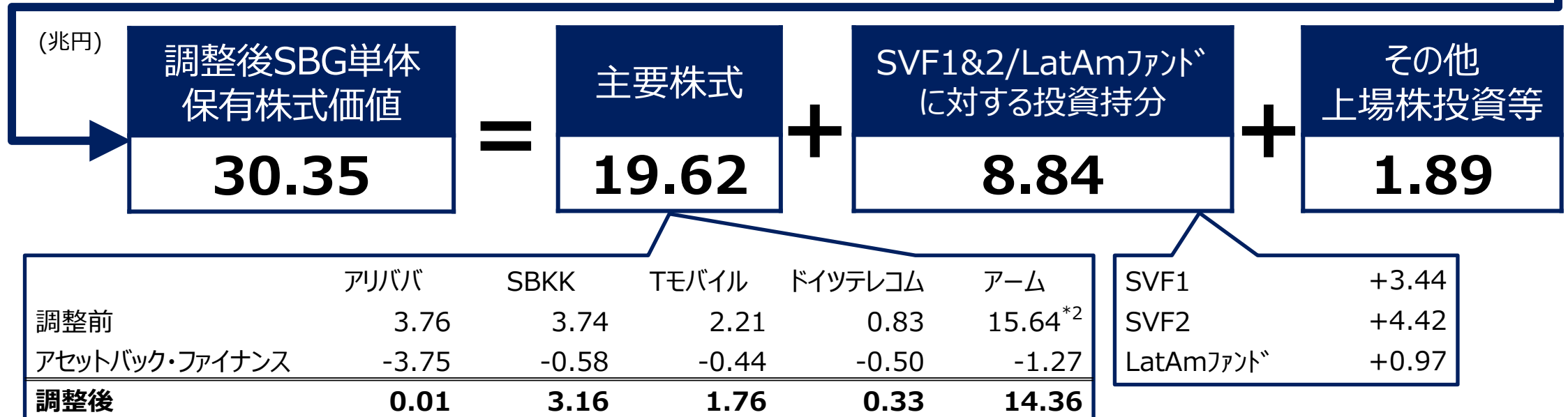
LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 2.55兆円

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

30.35兆円

= 8.4%



(注) 2024年3月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

*2 SBGの保有株式数×Arm株価（17.46兆円）-アーム取引対価未払金（1.82兆円）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	0.01	
調整前	3.76	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-3.75	複数の株式先渡し売買契約（カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2024年3月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（3兆7,519億円）
(b) SBKK	3.16	
調整前	3.74	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.58	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,764億円）
(c) SVF1	3.44	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	4.42	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	0.97	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	14.36	
アセットバック・ファイナンス調整およびアーム取引対価未払金控除前	17.46	SBGの保有株式数×同社株価
アーム取引対価未払金	-1.82	SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整前	15.64	SBGの保有株式数×同社株価 - SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.27	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,749億円）

(注) 2024年3月末時点

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	1.76	
調整前	2.21	SBGの保有株式数（2024年3月末時点：92,089,766株） （ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数 （2024年3月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 -ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債
アセットバック・ファイナンス調整	-0.44	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出） （4,440億円）
(h) ドイツテレコム	0.33	
調整前	0.83	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.50	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,997億円）
(i) その他*1	1.89	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分+SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
SBG単体 調整後保有株式価値	30.35	財務編P48からの(a)～(i)までの合計額

(注) 2024年3月末時点

*1 SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債の一部と見なし、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。
（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年3月末においていずれもゼロ）

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

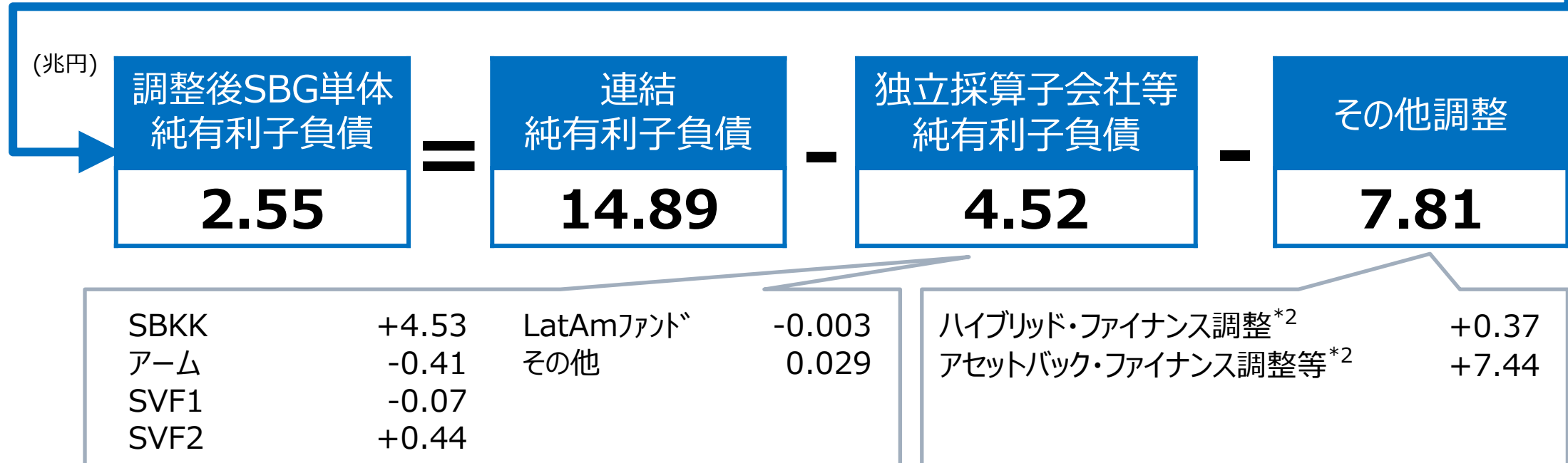
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

2.55兆円

=8.4%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

30.35兆円



(注) 2024年3月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債	10.36	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等^{*1}の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.37	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整等	-7.44	
アリババ	-4.68	アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（4兆6,766億円）
アーム	-1.27	同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,749億円）
Tモバイル	-0.43	Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（4,322億円）
ドイツテレコム	-0.50	2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,969億円）
SBKK	-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,625億円）
SBG単体 調整後純有利子負債	2.55	

(注) 2024年3月末時点

・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資

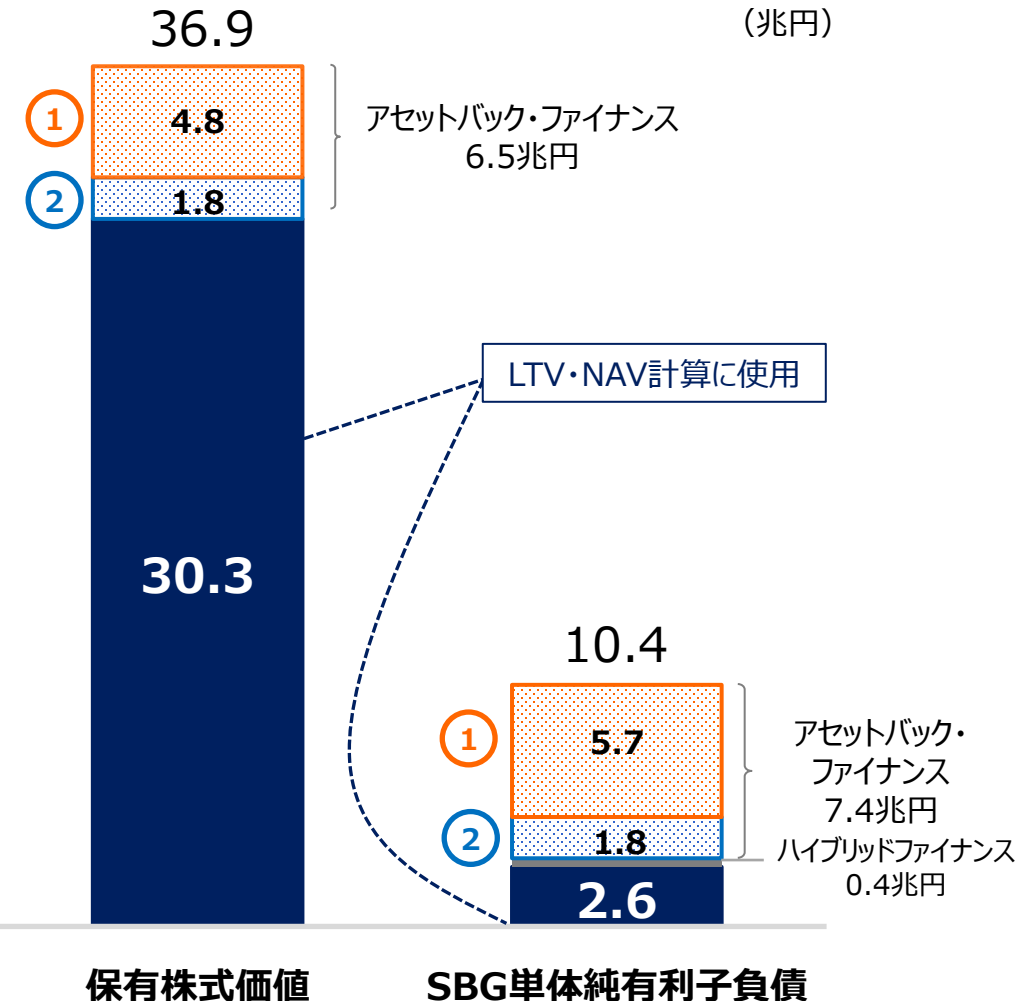
*1 独立採算子会社等はSB Northstarを含む。ただし、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債に含める。

（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年3月末においていずれもゼロ）

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要なアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー	② マージンローン
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約 ^{*1} に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



(注) 2024年3月末時点

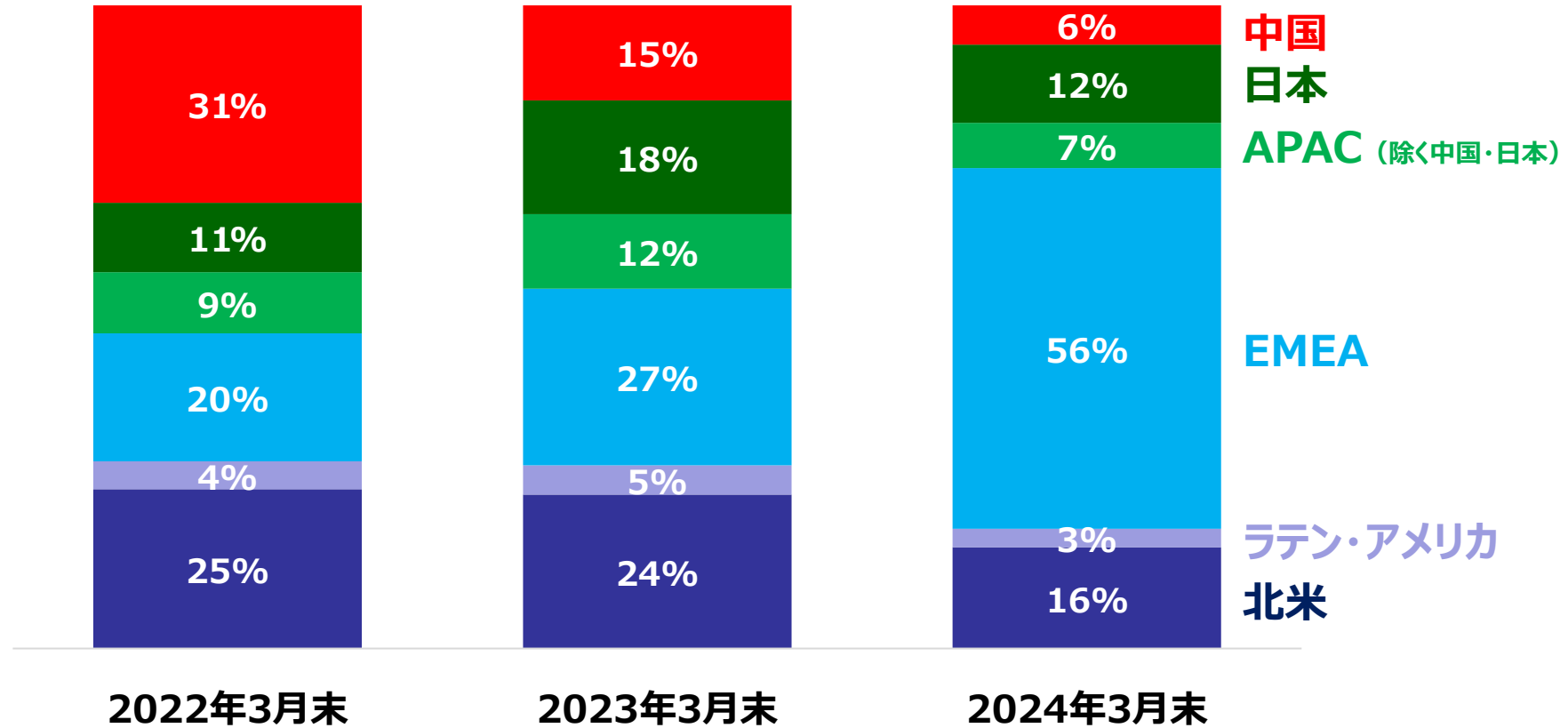
*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

ポートフォリオの地域分散

中国株式の割合が大幅に減少

アームの価値増によりEMEAの割合が大幅に増加

アセットバック・ファイナンス除く



(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類

中国：アリババ、SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：ソフトバンク、SVF1・SVF2（日本相当）およびその他の日本投資の合計

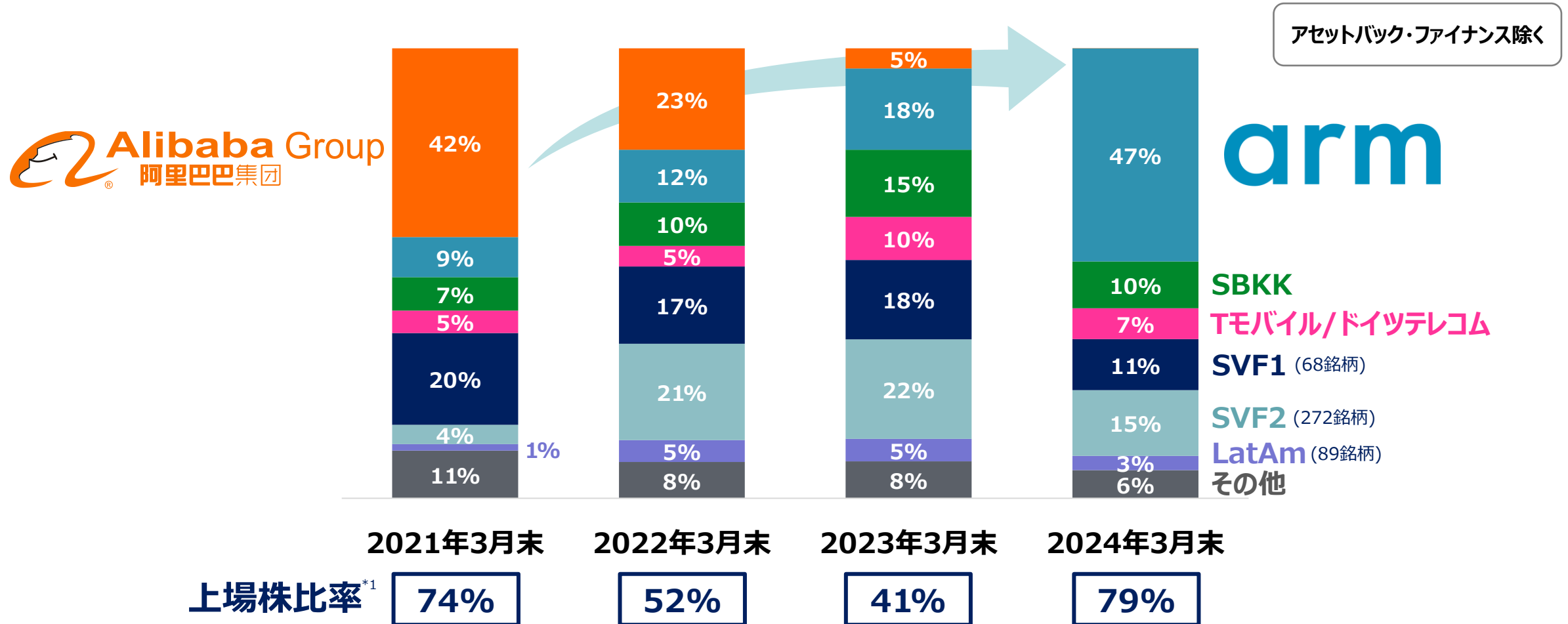
APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計

EMEA：アーム、ドイツテレコム、SVF1・SVF2（EMEA相当）およびその他のEMEA投資等の合計、ラテンアメリカ：LatAmファンド、SVF1（ラテンアメリカ相当）およびその他のラテンアメリカ投資の合計

北米：Tモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計

ポートフォリオの中核はアリババからArmへ

アリババの資金化とArm価値の増加が寄与。地政学リスクは低減



(注) 保有株式価値の各3月末時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

*1 アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。
(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

有利子負債の固定・変動比率

短期的な金利上昇による利払急増のリスクなし

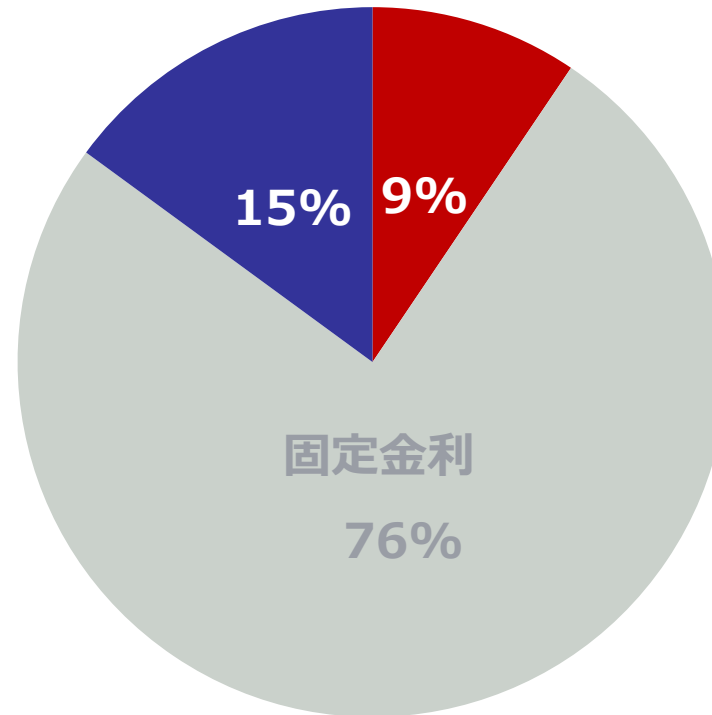
SBG単体有利子負債*1における固定・変動比率

ドル変動

金利1ポイント上昇で
\$85M支払利息増*2
< \$119M受取利息増*3

円変動*4

金利1ポイント上昇で
81億円利払増*5



*1 2024年3月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン、除く株式先渡契約）

*2 ドル変動利付負債（2024年3月末残高：85億米ドル（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）

*3 米ドル預金+MMF投資にかかる12か月の受取増額（推計）

*4 含むCP残高

*5 円変動利付負債（2024年3月末残高：8,136億円（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）

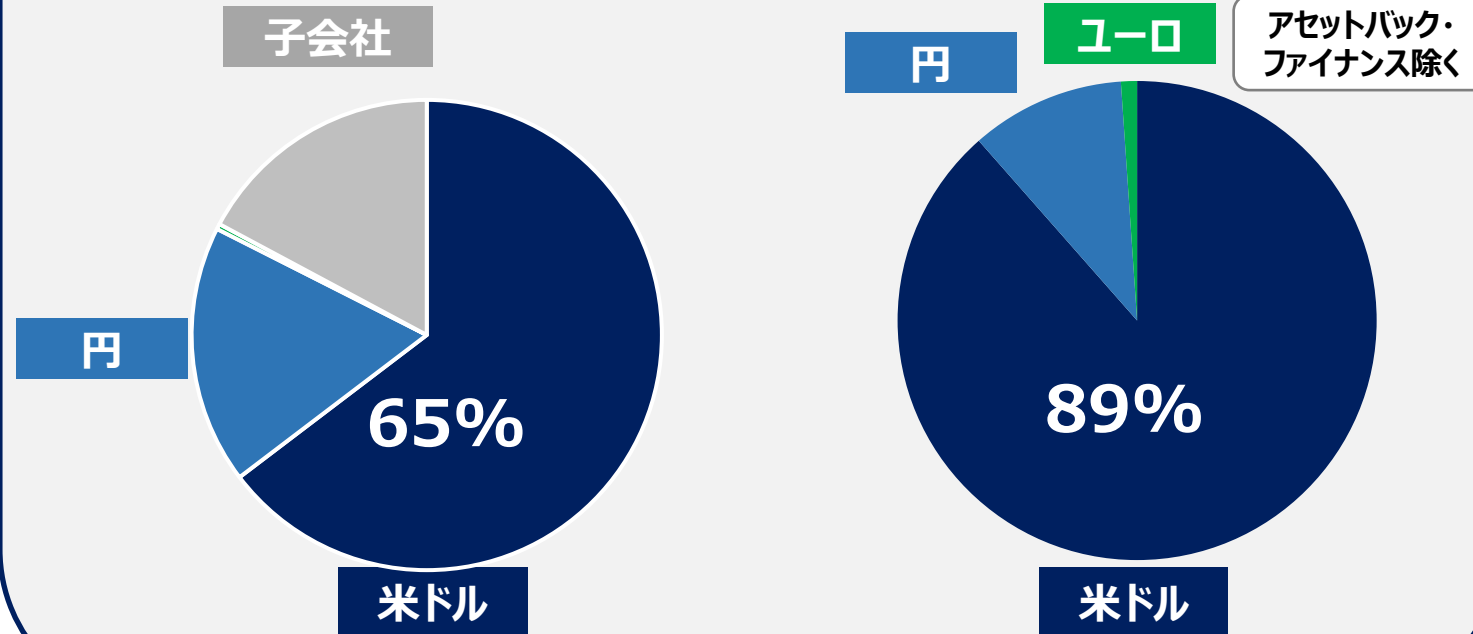
通貨内訳

投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

投資と資金化

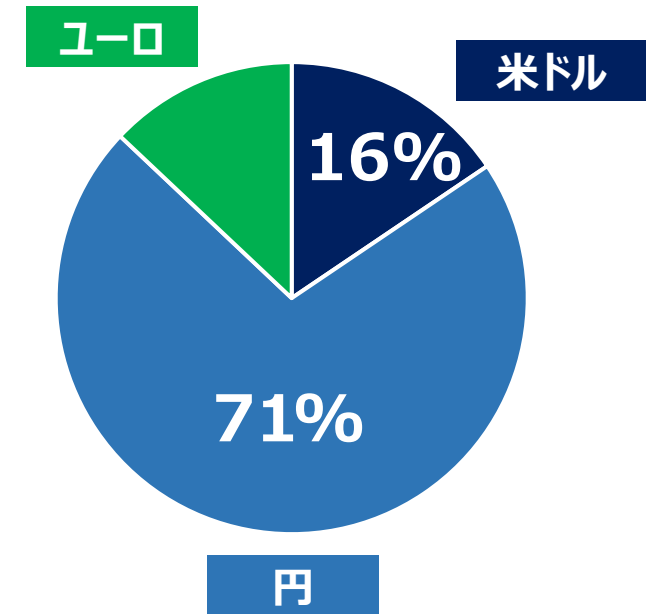
手元流動性：3.9兆円*1

保有株式価値：30.3兆円*2



負債構成

有利子負債*3：6.8兆円



(注) 2024年3月末時点。1ドル=151.41円、1ユーロ=163.24円を前提に、円建て換算

*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

*2 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照

*3 2024年3月末時点のSBG単体有利子負債 (ノンコースの有利子負債及び子会社有利子負債における「その他」を除く)

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024
SBG単体	126,917	140,833	143,358	137,657	142,975
うち、SB Northstar	-	-	-	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	13,227	14,199	5,422	5,132	5,479
ソフトバンク事業	61,347	62,406	63,260	64,719	63,211
その他（アーム等）	1,661	1,646	1,898	1,839	1,956
合計	203,152	219,085	213,937	209,347	213,620

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024
SBG単体	45,284	51,713	43,976	37,711	39,563
うち、SB Northstar	419	296	406	287	222
SVF1&2、LatAmファンド	1,120	1,129	796	657	1,760
ソフトバンク事業	17,022	15,348	17,833	18,650	17,922
その他（アーム等）	3,830	3,888	4,510	4,693	5,523
合計	67,255	72,077	67,115	61,710	64,768

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024
SBG単体	81,633	89,120	99,381	99,946	103,412
うち、SB Northstar	-419	-296	-406	-287	-222
SVF1&2、LatAmファンド	12,107	13,070	4,626	4,476	3,719
ソフトバンク事業	44,325	47,058	45,427	46,069	45,289
その他（アーム等）	-2,168	-2,241	-2,612	-2,854	-3,567
合計	135,897	147,007	146,822	147,637	148,852

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。2023年9月末以降の手元流動性に債券投資が含まれるが、2023年9月末は国債投資のみ。PayPay銀行の手元流動性は含まず、SB Northstarの現金及び現金同等物（2023年6月末以降）、債券投資（2023年12月末以降）を含む。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ